
令和3年（2021年）

広島市消防局火災統計

広島市消防局予防部予防課

令和3年（2021年）広島市消防局火災統計

目 次

1 火災の現況と最近の動向	1
(1) 令和3年の火災概要	1
(2) 火災の推移と傾向	2
(3) 行政区・受託市町別火災発生状況	2
(4) 行政区・受託市町別出火原因	2
(5) 行政区・受託市町別被害状況	2
2 出火状況	7
(1) 火災件数の構成比率	7
(2) 月別火災発生状況	8
(3) 四季別火災発生状況	8
(4) 1日当たりの火災状況	9
(5) 時間帯別火災発生状況	9
(6) 曜日別火災発生状況	10
(7) 行政区・受託市町別出火率	10
(8) 火災覚知方法別件数	11
(9) 初期消火方法別件数	11
3 火災による死者の状況	12
(1) 火災による死者の状況	12
(2) 月別発生状況	13
(3) 死因別発生状況	14
(4) 年齢階層別発生状況	14
(5) 出火原因別発生状況	15
(6) 住宅火災による発生状況	16
4 火災による負傷者の状況	17
(1) 火災による負傷者の状況	17
(2) 月別発生状況	18
(3) 負傷原因別発生状況	19
(4) 負傷程度別負傷者発生状況	19
5 出火原因	20
(1) 出火原因別発生状況	20
(2) 行政区・受託市町別出火原因件数	22
(3) 「たばこ」による火災の推移と傾向	23
(4) 「こんろ」による火災の推移と傾向	24
(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向	25
(6) 「たき火」による火災の推移と傾向	27

6 建物火災の主な出火原因	28
(1) 建物火災の主な出火原因	28
(2) 「こんろ」による火災の発生状況	29
(3) 「たばこ」による火災の発生状況	30
(4) 「ストーブ」による火災の発生状況	31
(5) 「配線器具」による火災の発生状況	32
7 林野火災の主な出火原因	33
8 車両火災の主な出火原因	34
9 その他の火災の主な出火原因	35
10 住宅用火災警報器と住宅火災	36
(1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移	36
(2) 住警器と死傷者	37
(3) 住警器（自火報を含む）と火災概況	39
(4) 住警器奏功事例	40
11 別表	41

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

1 火災の現況と最近の動向

(1) 令和3年の火災概要

令和3年中の広島市消防局管内の火災件数は247件で、前年に比べて18件増加している。

火災種別では、「建物火災」154件（うち「住宅火災」86件）、「林野火災」6件、「車両火災」27件、「その他の火災」が59件となっている。

出火原因別にみると、「たばこ」による火災が32件、「こんろ」による火災が30件、「放火（疑いを含む）」による火災が30件、「たき火」による火災が20件となっている。

火災による被害状況をみると、建物焼損面積6,293㎡、林野焼損面積39a、損害額8億277万3千円、死者15人、負傷者39人となっている（第1-1表）。

第1-1表 令和3年の火災概要

区分		令和3年			令和2年			増減		
		管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町
火災発生状況（件）	総数	247	223	24	229	214	15	18	9	9
	建物火災	154	134	20	145	135	10	9	▲1	10
	住宅火災	86	74	12	91	86	5	▲5	▲12	7
	林野火災	6	5	1	5	5	0	1	0	1
	自動車	27	27	0	16	14	2	11	13	▲2
	鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	船舶火災	1	1	0	0	0	0	1	1	0
出火原因（件）	その他の火災	59	56	3	63	60	3	▲4	▲4	0
	たばこ	32	28	4	38	37	1	▲6	▲9	3
	こんろ	30	29	1	30	28	2	0	1	▲1
	放火（疑いを含む）	30	26	4	28	26	2	2	0	2
	たき火	20	19	1	22	21	1	▲2	▲2	0
	電気機器	10	10	0	8	8	0	2	2	0
	配線器具	10	8	2	8	6	2	2	2	0
	排気管	10	10	0	5	3	2	5	7	▲2
	火あそび	10	8	2	5	5	0	5	3	2
被害状況	上記以外	95	85	10	85	80	5	10	5	5
	焼損面積									
	建物（㎡）	6,293	5,849	444	3,727	2,811	916	2,566	3,038	▲472
	林野（a）	39	38	1	11	11	0	28	27	1
	損害額（千円）	802,773	773,407	29,366	270,035	216,427	53,608	532,738	556,980	▲24,242
	焼損棟数（棟）	254	226	28	188	172	16	66	54	12
	り災世帯（世帯）	190	174	16	150	143	7	40	31	9
	り災人員（人）	376	330	46	313	294	19	63	36	27
	死者（人）	15	12	3	5	4	1	10	8	2
	負傷者（人）	39	37	2	51	44	7	▲12	▲7	▲5

- （備考）
- 1 各年の数値は、1月～12月に発生した火災を集計したもの。
 - 2 「建物火災」とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
 - 3 「住宅火災」とは、専用住宅、併用住宅及び共同住宅における火災をいう。
 - 4 「車両火災」とは、自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
 - 5 「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
 - 6 「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
 - 7 「その他の火災」とは、建物火災、車両火災、林野火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。
 - 8 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。
 - 9 ▲は負数を表す。

(2) 火災の推移と傾向

過去10年間(平成24年～令和3年)の火災件数をみると、420件であった平成25年以降、おおむね減少傾向となっている。令和3年中の火災件数(247件)は、この10年で最も多かった平成25年中の火災件数(420件)の58.8%となっている。

また、建物焼損床面積は、この10年で最も多かった平成25年から平成28年まで減少傾向で、それ以降は4,000㎡前後ではほぼ横ばいとなっているが、令和3年は一部の大火災により6,293㎡と増加している。

過去10年間の火災件数を主な火災種別ごとにみると、全ての火災種別で、おおむね減少傾向となっており、特に「建物火災」と「その他の火災」が顕著に減少している。

火災による損害額は、平成25年と平成30年を除きおおむね減少傾向となっているが、令和3年は一部の大火災により8億277万3千円と大きく増加している。

火災による死者は、平成26年の30人、平成27年の20人を除き10人前後であり、ほぼ横ばいとなっているが、令和3年は15人の死者が発生している(第1-1図)。

(3) 行政区・受託市町別火災発生状況

令和3年中の火災件数について、行政区別に発生状況をみると、「南区」が35件で最も多く、次いで、「安佐北区」が32件となっている。

受託市町では、「海田町」が14件で最も多く、次いで、「熊野町」が6件となっている(第1-2表)。

(4) 行政区・受託市町別出火原因

令和3年中の火災件数について、行政区別の出火原因上位2つをみると、「佐伯区」で「たばこ」による火災が2件増加している一方、「中区」及び「西区」ではそれぞれ3件減少している。

また、「こんろ」による火災件数は、「南区」及び「佐伯区」ではそれぞれ2件増加する一方、「安佐南区」では4件減少している(第1-3表)。

(5) 行政区・受託市町別被害状況

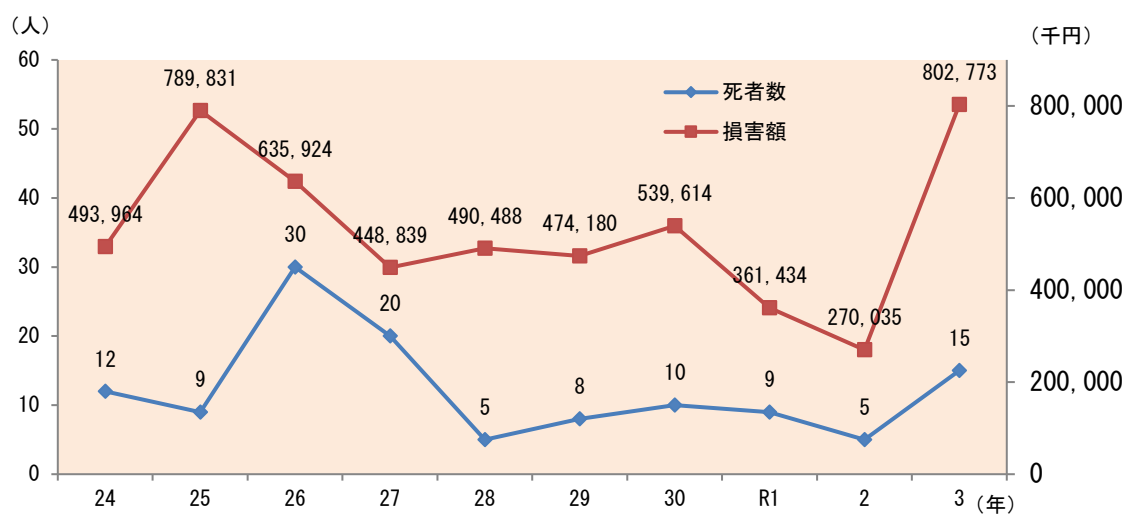
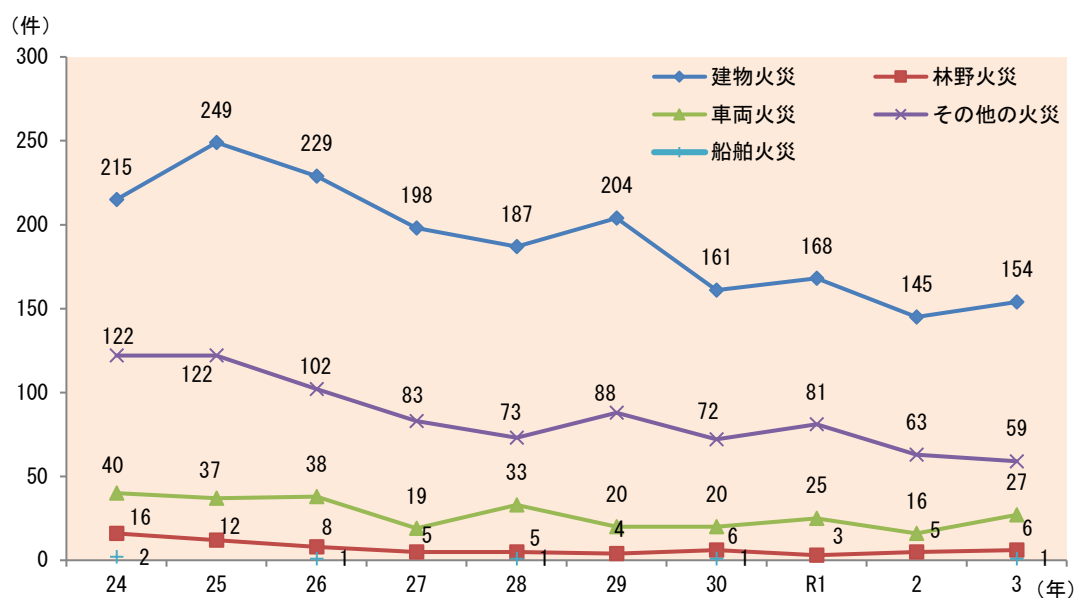
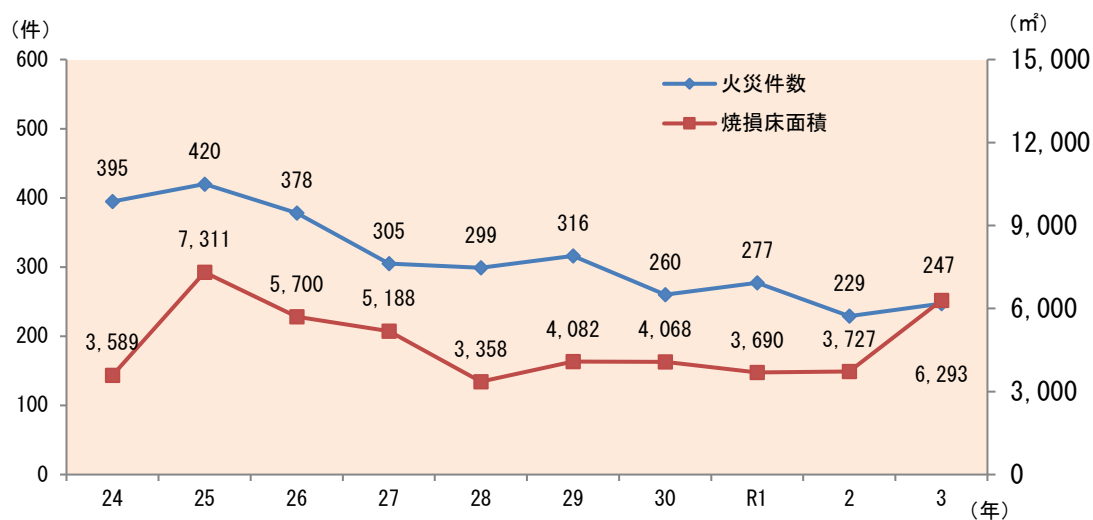
令和3年中の火災件数について、行政区別に被害状況をみると、損害額は、「安佐南区」が3億4,176万6千円で最も多く、次いで、「南区」が1億9,745万9千円となっているが、これは一部の大火災によるものである。また、焼損床面積は、「安佐南区」が1,569㎡で最も多くなっているが、これも一部の大火災によるものである。

受託市町をみると、損害額は「熊野町」が、焼損床面積は「安芸太田町」が最も多くなっている。

損害額を前年と比べると、行政区別では、「安佐南区」が最も増加し、「安佐北区」が最も減少しており、受託市町では、「熊野町」が最も増加し、「安芸太田町」が最も減少している。

また、火災による死者は、行政区別では、「中区」、「南区」及び「西区」でそれぞれ3人、「安佐南区」、「安佐北区」及び「佐伯区」でそれぞれ1人発生しており、受託市町では、「海田町」、「熊野町」及び「安芸太田町」でそれぞれ1人発生している(第1-4表)。

第 1 - 1 図 火災の推移と傾向



(備考) 「火災件数」及び「死者数」は左軸を、「焼損床面積」及び「損害額」は右軸を参照。

第 1 - 2 表 行政区・受託市町別火災発生状況

(件)

区分		総計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災	
		令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年
広島市	中区	29	34	26	27	0	0	1	1	0	0	2	6
	増減数	▲5		▲1		0		0		0		▲4	
	東区	20	13	10	8	0	0	3	2	0	0	7	3
	増減数	7		2		0		1		0		4	
	南区	35	21	24	15	0	0	5	3	1	0	5	3
	増減数	14		9		0		2		1		2	
	西区	31	31	20	21	0	0	4	1	0	0	7	9
	増減数	0		▲1		0		3		0		▲2	
	安佐南区	26	35	13	25	1	1	5	1	0	0	7	8
	増減数	▲9		▲12		0		4		0		▲1	
	安佐北区	32	43	16	17	1	4	6	3	0	0	9	19
	増減数	▲11		▲1		▲3		3		0		▲10	
	安芸区	19	13	8	7	1	0	1	0	0	0	9	6
	増減数	6		1		1		1		0		3	
	佐伯区	31	24	17	15	2	0	2	3	0	0	10	6
	増減数	7		2		2		▲1		0		4	
	計	223	214	134	135	5	5	27	14	1	0	56	60
	増減数	9		▲1		0		13		1		▲4	

受託市町	海田町	14	6	12	4	0	0	0	0	0	0	2	2
	増減数	8		8		0		0		0		0	
	坂町	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	▲1		▲1		0		0		0		0	
	熊野町	6	5	4	3	1	0	0	1	0	0	1	1
	増減数	1		1		1		▲1		0		0	
	安芸太田町	4	3	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0
	増減数	1		2		0		▲1		0		0	
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	0		0		0		0		0		0	
	計	24	15	20	10	1	0	0	2	0	0	3	3
	増減数	9		10		1		▲2		0		0	

総計	247	229	154	145	6	5	27	16	1	0	59	63
増減数	18		9		1		11		1		▲4	

第 1 - 3 表 行政区・受託市町別出火原因

(件)

区分		総計		たばこ		こんろ		放火（疑いを含む）		たき火		排気管		左記以外	
		令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
広島市	中区	29	34	5	8	9	10	2	5	0	0	0	0	13	11
	増減数	▲5		▲3		▲1		▲3		0		0		2	
	東区	20	13	0	2	4	3	3	1	0	0	0	0	13	7
	増減数	7		▲2		1		2		0		0		6	
	南区	35	21	4	3	4	2	5	5	0	0	1	1	21	10
	増減数	14		1		2		0		0		0		11	
	西区	31	31	8	11	5	6	2	4	2	0	3	0	11	10
	増減数	0		▲3		▲1		▲2		2		3		1	
	安佐南区	26	35	5	6	0	4	4	2	2	4	1	1	14	18
	増減数	▲9		▲1		▲4		2		▲2		0		▲4	
	安佐北区	32	43	1	2	2	1	3	4	9	11	3	0	14	25
	増減数	▲11		▲1		1		▲1		▲2		3		▲11	
	安芸区	19	13	0	2	1	0	3	2	4	4	0	0	11	5
	増減数	6		▲2		1		1		0		0		6	
	佐伯区	31	24	5	3	4	2	4	3	2	2	2	1	14	13
	増減数	7		2		2		1		0		1		1	
	計	223	214	28	37	29	28	26	26	19	21	10	3	111	99
	増減数	9		▲9		1		0		▲2		7		12	

受託市町	海田町	14	6	3	1	1	1	4	1	0	1	0	0	6	2
	増減数	8		2		0		3		▲1		0		4	
	坂町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	増減数	▲1		0		0		0		0		0		▲1	
	熊野町	6	5	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	5	2
	増減数	1		0		▲1		▲1		1		▲1		3	
	安芸太田町	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2
	増減数	1		1		0		0		0		▲1		1	
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	0		0		0		0		0		0		0	
	計	24	15	4	1	1	2	4	2	1	1	0	2	14	7
	増減数	9		3		▲1		2		0		▲2		7	

総計	247	229	32	38	30	30	30	28	20	22	10	5	125	106
増減数	18		▲6		0		2		▲2		5		19	

第 1 - 4 表 行政区・受託市町別被害状況

区分		損害額（千円）		焼損床面積（㎡）		焼損表面積（㎡）		林野焼損面積（a）		死者（人）		負傷者（人）	
		令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 2 年
広島市	中区	84,367	35,362	1,168	159	444	104	0	0	3	1	6	6
	増減数	49,005		1,009		340		0		2		0	
	東区	11,952	352	61	0	2	8	0	0	0	0	4	0
	増減数	11,600		61		▲6		0		0		4	
	南区	197,459	48,061	1,459	430	517	185	0	0	3	2	6	8
	増減数	149,398		1,029		332		0		1		▲2	
	西区	39,895	7,528	338	31	113	22	0	0	3	0	3	7
	増減数	32,367		307		91		0		3		▲4	
	安佐南区	341,766	39,538	1,569	514	823	45	11	3	1	0	4	8
	増減数	302,228		1,055		778		8		1		▲4	
	安佐北区	16,520	52,646	534	1,137	5	51	5	8	1	1	5	3
	増減数	▲36,126		▲603		▲46		▲3		0		2	
	安芸区	34,243	12,938	352	161	74	59	1	0	0	0	5	8
	増減数	21,305		191		15		1		0		▲3	
	佐伯区	47,205	20,002	368	379	87	50	21	0	1	0	4	4
	増減数	27,203		▲11		37		21		1		0	
	計	773,407	216,427	5,849	2,811	2,065	524	38	11	12	4	37	44
	増減数	556,980		3,038		1,541		27		8		▲7	

受託市町	海田町	3,540	2,630	43	19	24	2	0	0	1	1	1	1
	増減数	910		24		22		0		0		0	
	坂町	0	15	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0
	増減数	▲15		0		▲20		0		0		0	
	熊野町	15,504	13,878	115	107	13	28	1	0	1	0	1	1
	増減数	1,626		8		▲15		1		1		0	
	安芸太田町	10,322	37,085	286	790	0	22	0	0	1	0	0	5
	増減数	▲26,763		▲504		▲22		0		1		▲5	
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	0		0		0		0		0		0	
	計	29,366	53,608	444	916	37	72	1	0	3	1	2	7
	増減数	▲24,242		▲472		▲35		1		2		▲5	

総計	802,773	270,035	6,293	3,727	2,102	596	39	11	15	5	39	51
増減数	532,738		2,566		1,506		28		10		▲12	

2 出火状況

(1) 火災件数の構成比率

令和3年中の火災件数について、その構成比をみると、建物火災が全火災の62.3%で最も高い比率を占めている（第2-1表）。

建物火災のうち住宅火災件数を行政区・受託市町別にみると、「海田町」が7件増加する一方、「安佐南区」では9件減少している（第2-2表）。

第2-1表 火災件数の構成比率

火災種別	令和3年		令和2年	
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）
建物火災	154(86)	62.3	145(91)	63.3
林野火災	6	2.4	5	2.2
車両火災	27	10.9	16	7.0
船舶火災	1	0.4	0	0.0
その他の火災	59	23.9	63	27.5
総計	247	100.0	229	100.0

- （備考） 1 （ ）内は住宅火災件数で、内数である。
2 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第2-2表 行政区・受託市町別の住宅火災件数

（件）

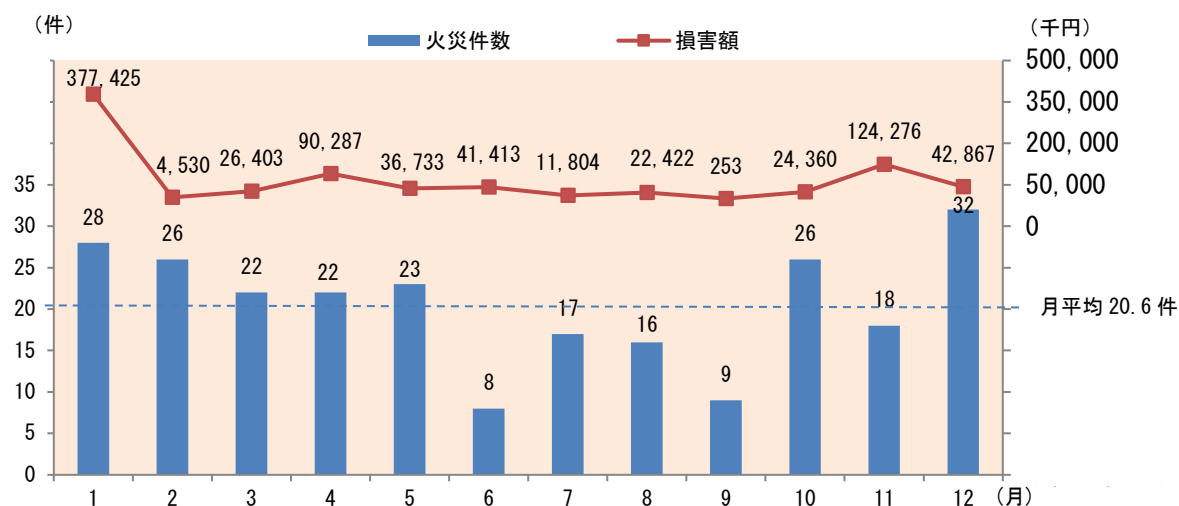
区分		令和3年	令和2年	増減数
広島市	中区	13	15	▲2
	東区	7	5	2
	南区	10	8	2
	西区	14	13	1
	安佐南区	8	17	▲9
	安佐北区	8	15	▲7
	安芸区	5	4	1
	佐伯区	9	9	0
広島市 計		74	86	▲12
受託市町	安芸郡海田町	8	1	7
	安芸郡坂町	0	0	0
	安芸郡熊野町	2	2	0
	安芸太田町	2	2	0
	廿日市市吉和	0	0	0
受託市町 計		12	5	7
総計		86	91	▲5

(2) 月別火災発生状況

令和3年中の月別火災発生状況をみると、ひと月当たりの平均は約20.6件で、「12月」が32件で最も多く、次いで、「1月」が28件となっている。

損害額を月別にみると、「1月」が最も多く、「9月」が最も少ない（第2-1図）。

第2-1図 令和3年月別火災発生状況



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

(3) 四季別火災発生状況

令和3年中の四季別火災発生状況をみると、「冬季(12月～2月)」が86件(構成比34.8%)で最も多く、「夏季(6月～8月)」が41件(構成比16.6%)で最も少ない（第2-3表）。

第2-3表 四季別火災発生状況

区分	令和3年				令和2年			
	火災件数(件)	構成比(%)	損害額(千円)	構成比(%)	火災件数(件)	構成比(%)	損害額(千円)	構成比(%)
春季(3月～5月)	67	27.1	153,423	19.1	77	33.6	66,910	24.8
夏季(6月～8月)	41	16.6	75,639	9.4	42	18.3	8,149	3.0
秋季(9月～11月)	53	21.5	148,889	18.5	58	25.3	85,242	31.6
冬季(12月～2月)	86	34.8	424,822	52.9	52	22.7	109,689	40.6
総計	247	100.0	802,773	100.0	229	100.0	270,035	100.0

(4) 1日当たりの火災状況

令和3年中の火災件数（247件）を1日当たりに換算すると、火災件数は0.7件で、建物焼損面積は17.2㎡となっている（第2-4表）。

第2-4表 1日当たりの火災状況

区分		令和3年			令和2年		
		管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町
火災件数（件）		0.7	0.6	0.1	0.6	0.6	0.0
焼損面積	建物（㎡）	17.2	16.0	1.2	10.2	7.7	2.5
	林野（a）	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
損害額（千円）		2,199.4	2,118.9	80.5	737.8	591.3	146.5
焼損棟数（棟）		0.7	0.6	0.1	0.5	0.5	0.0
り災世帯（世帯）		0.5	0.5	0.0	0.4	0.4	0.0
り災人員（人）		1.0	0.9	0.1	0.9	0.8	0.1
死者（人）		0.04	0.03	0.01	0.01	0.01	0.00
負傷者（人）		0.11	0.10	0.01	0.14	0.12	0.02

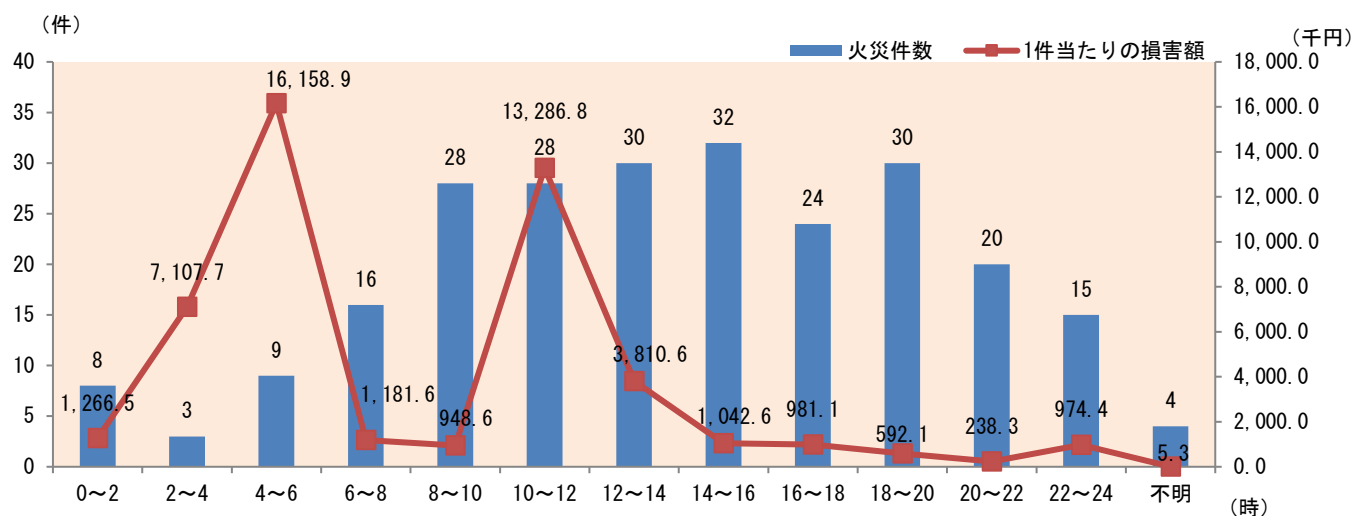
（備考） 小数点第2位を四捨五入（死者及び負傷者の項目は小数点第3位を四捨五入）。

(5) 時間帯別火災発生状況

令和3年中の時間帯別火災発生状況をみると、「14時から16時」が32件で最も多く、「2時から4時」が3件で最も少ない。

1件当たりの損害額をみると、「4時から6時」が最も多く、次いで「10時から12時」が多くになっている（第2-2図）。

第2-2図 令和3年時間帯別火災発生状況

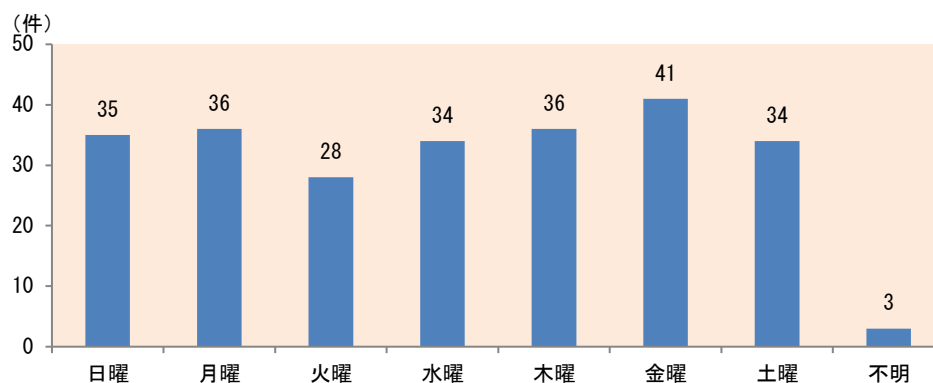


（備考） 1 【例】時間帯の「0~2」は、出火時刻が0時00分~1時59分までの間であることを示す。
 2 1件当たりの損害額については、小数点第2位を四捨五入。
 3 「火災件数」は左軸を、「1件当たりの損害額」は右軸を参照。

(6) 曜日別火災発生状況

令和3年中の曜日別火災発生状況をみると、「金曜」が41件で最も多く、次いで「月曜」及び「木曜」が36件となっており、「火曜」が28件で最も少ない（第2-3図）。

第2-3図 令和3年曜日別火災発生状況



(7) 行政区・受託市町別出火率

令和3年中の出火率は、2.0件/万人で、広島市では1.9件/万人、受託市町では3.3件/万人となっている。

行政区別にみると、「南区」が2.5件/万人で最も高く、「安佐南区」が1.1件/万人で最も低く、受託市町別にみると、「安芸太田町」が6.7件/万人で最も高い（第2-5表）。

第2-5表 令和3年行政区・受託市町別出火率

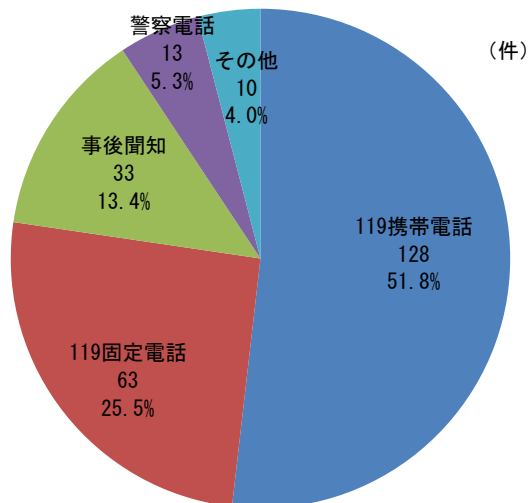
区分		出火率（件／万人）	火災件数（件）	建物火災（件）	人口（人）
広島市	中区	2.1	29	26	136,234
	東区	1.7	20	10	119,561
	南区	2.5	35	24	142,326
	西区	1.6	31	20	188,613
	安佐南区	1.1	26	13	244,581
	安佐北区	2.3	32	16	142,050
	安芸区	2.4	19	8	78,614
	佐伯区	2.2	31	17	140,610
広島市 計		1.9	223	134	1,192,589
受託市町	海田町	4.6	14	12	30,387
	坂町	0.0	0	0	12,875
	熊野町	2.5	6	4	23,638
	安芸太田町	6.7	4	4	5,958
	廿日市市吉和	0.0	0	0	618
受託市町 計		3.3	24	20	73,476
総計		2.0	247	154	1,266,065

（備考） 1 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。
2 人口は、令和3年3月末現在の住民基本台帳による。

(8) 火災覚知方法別件数

令和３年中の火災覚知方法をみると、「携帯電話による１１９番通報」が５１．８％と約５割を占めており、次いで、「固定電話による１１９番通報」が２５．５％となっている（第２－４図）。

第２－４図 令和３年火災覚知方法別件数



- （備考）
- 「事後聞知」とは、消防機関が「このような火災があった」等、鎮火後に通報を受けた場合をいう。
 - 「警察電話」とは、広島県警察本部と広島市消防局間に設置されている専用の電話回線をいう。
 - 「その他」とは、消防職員が発見したもの及び消防署への加入通報や駆けつけにより覚知したものをいう。

(9) 初期消火方法別件数

令和３年中の初期消火方法をみると、「水道等の水をかけた」が９４件で最も多く、次いで、「粉末消火器」が４７件となっている。一方で、初期消火を行わなかったものは、７４件となっている。

令和３年中の火災のうち、初期消火に成功したのは１２３件となっており、初期消火の成功率は４９．８％となっている（第２－６表）。

第２－６表 令和３年初期消火方法別件数及び成功率

区分	成功（件）	失敗（件）	総計（件）	成功率（％）
水道等の水をかけた	72	22	94	76.6%
粉末消火器	32	15	47	68.1%
寝具、衣類等をかけた	7	3	10	70.0%
もみ消した	1	1	2	50.0%
屋内消火栓設備	0	2	2	0.0%
その他	11	7	18	61.1%
初期消火なし			74	
総計	123	50	247	49.8%

- （備考）
- 「成功率」は、成功件数に総数を除すことで算出したもの。
 - 「その他」とは、「投てき用消火器」等を使用したものをいう。

3 火災による死者の状況

(1) 火災による死者の状況

令和3年中の火災による死者は15人で、前年に比べて10人増加している。

死者15人のうち、放火自殺者を除いた住宅火災による死者は12人で、このうち10人が65歳以上の高齢者となっている（第3-1表）。

過去10年間の死者数をみると、平成26年及び平成27年を除き、10人前後で推移している（第3-1図）。

火災100件当たりの死者数をみると、火災件数が減少傾向にあるのに対し、死者数は平成26年及び平成27年を除き3人前後であり、ほぼ横ばいとなっているが、令和3年は6.1人と増加している。（第3-2図）。

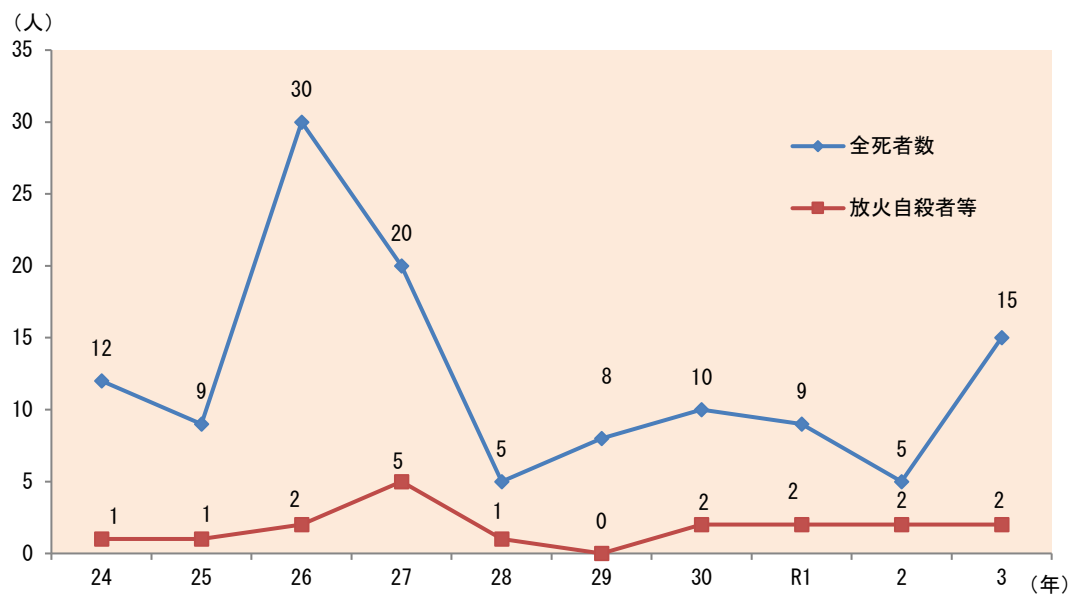
第3-1表 火災による死者発生状況

(人)

区分	65歳未満		65歳以上		総計		前年比
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	
建物火災	4(2)	3(1)	11	1	15(2)	4(1)	11(1)
住宅火災	3(1)	3(1)	10	1	13(1)	4(1)	9
その他の火災	0	1(1)	0	0	0	1(1)	▲1(▲1)
総計	4(2)	4(2)	11	1	15(2)	5(2)	10

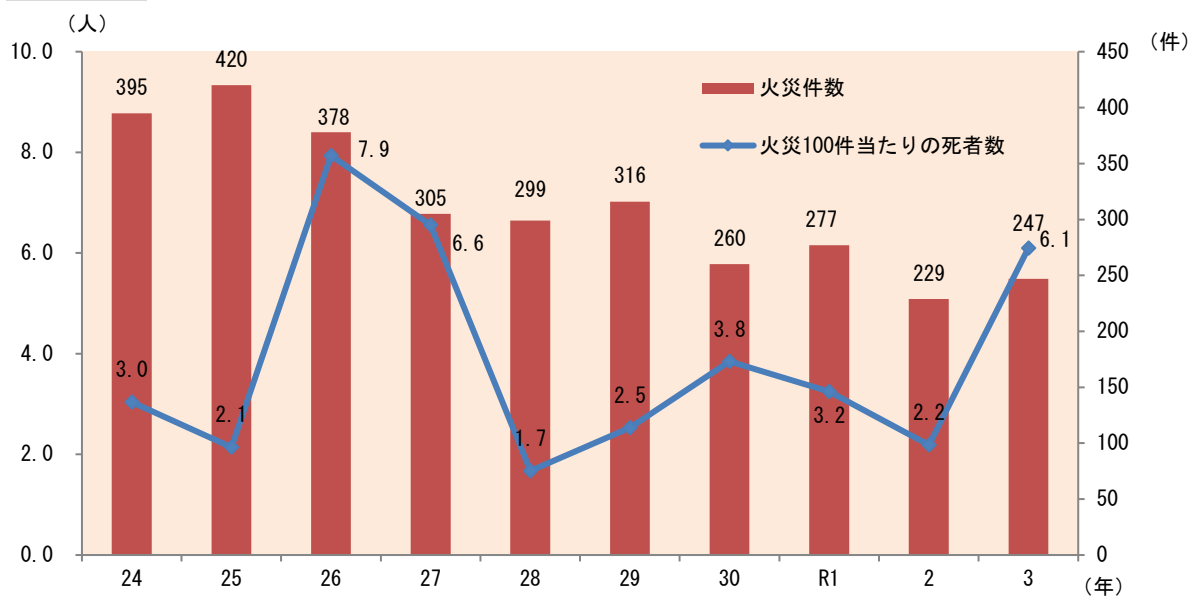
(備考) () は放火自殺者数で、内数である。

第3-1図 火災による死者数の推移



(備考) 放火自殺者等とは、放火自殺者、放火自殺の巻き添えとなった者及び放火殺人による死者をいう。

第3-2図 火災100件当たりの死者数の推移



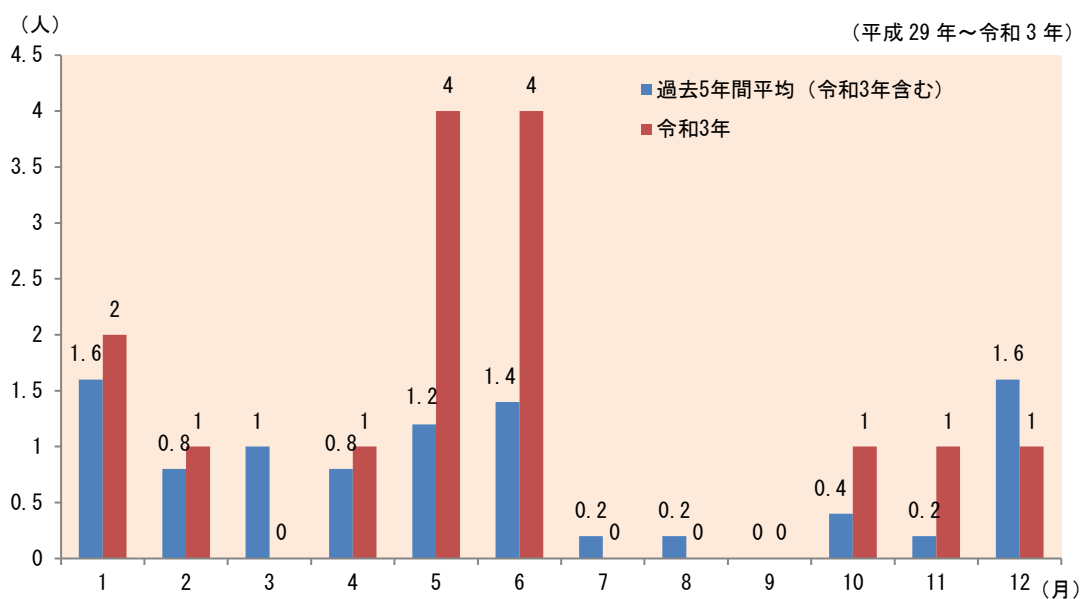
(備考) 「火災100件当たりの死者数」は左軸を、「火災件数」は右軸を参照。

(2) 月別発生状況

令和3年中の火災による死者(15人)を月別にみると、過半数である8人が「5月」及び「6月」に発生している。

また、過去5年間(平成29年～令和3年)の平均死者発生状況をみると、「12月」及び「1月」に最も多く発生している(第3-3図)。

第3-3図 月別死者発生状況



(3) 死因別発生状況

過去5年間の火災による死者（47人）を死因別にみると、「一酸化炭素中毒死」が19人で最も多く、次いで、「火傷死」が10人となっている（第3－2表）。

第3－2表 火災による死因別死者発生状況

（人）

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	過去5年間 計
一酸化炭素中毒死	4	4	3	2	7	20
火傷死	2	3	2	0	3	10
焼死	2	1	2	1	2	8
自殺	0	2	2	2	2	8
不明	0	0	0	0	1	1
総計	8	10	9	5	15	47

- （備考） 1 「火傷死」とは、煙（CO）による影響が少なく、火傷（火、熱）により死亡したもの。
 2 「焼死」とは、煙が作用したことにより、火傷を受け死亡したもの。
 3 「不明」とは、死因の特定に至らなかったもの。

(4) 年齢階層別発生状況

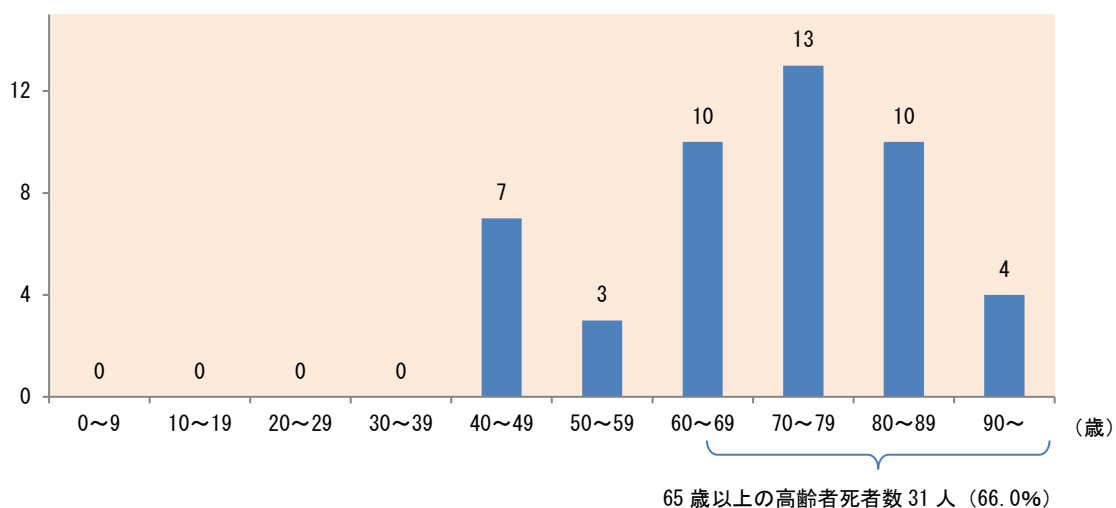
過去5年間の火災による死者（47人）を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が31人で66.0%を占めている（第3－4図）。

過去10年間の高齢者の割合の推移をみると、87.5%であった平成29年以降、右肩下がりとなっているが、令和3年は73.3%と高齢者の割合が高くなっている。また、男女比では、年によって違いはあるものの、全体数でみると、男性38人、女性35人であり、顕著な傾向は見られない（第3－5図）。

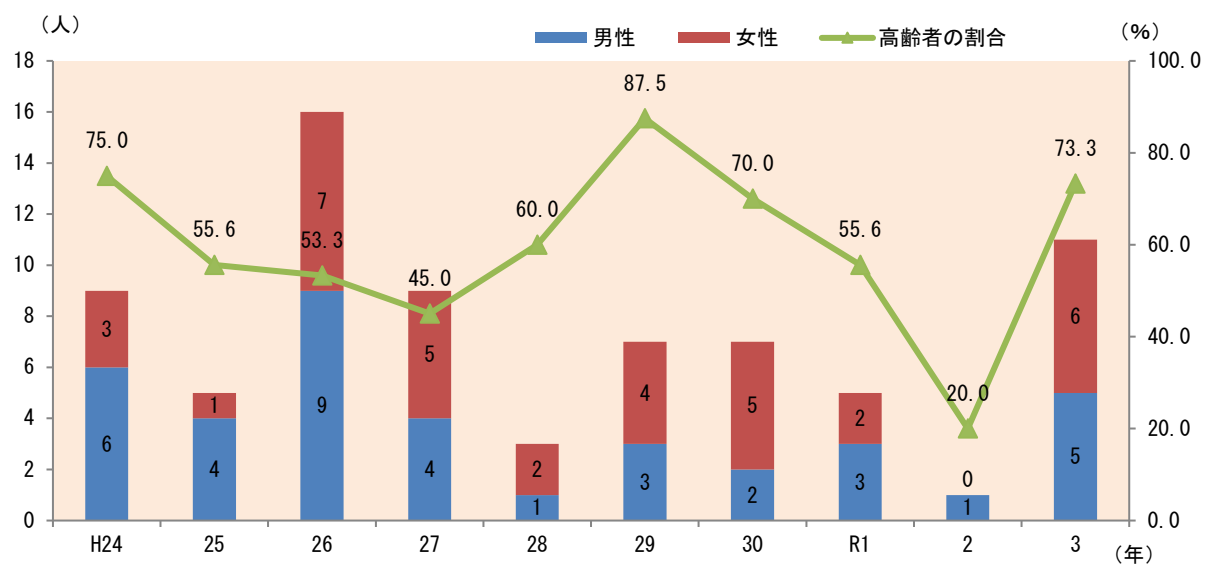
第3－4図 火災による年齢階層別死者発生状況

（人）

（平成29年～令和3年）



第3-5図 男女別死者発生状況（高齢者）及び高齢者の割合



（備考） 「男性」及び「女性」の死者数は左軸を、「高齢者の割合」は右軸を参照。

(5) 出火原因別発生状況

過去5年間の火災による死者（47人）を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」及び「たばこ」がそれぞれ8件で最も多く、次いで、「ストーブ」が6件、「マッチ・ライター」が3件となっている（第3-3表）。

第3-3表 出火原因別死者発生状況

(件)

区分	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	過去 5 年間 計
放火（疑いを含む）	0	2	2	2	2	8
たばこ	1	2	2	0	3	8
ストーブ	4	1	0	0	1	6
マッチ・ライター	0	1	2	0	0	3
こんろ	1	0	0	0	1	2
電灯・電話等の配線	1	0	0	0	1	2
灯火	0	1	0	0	1	2
たき火	0	0	1	0	0	1
火入れ	0	1	0	0	0	1
風呂かまど	0	1	0	0	0	1
不明・調査中	1	1	2	3	6	13
総計	8	10	9	5	15	47

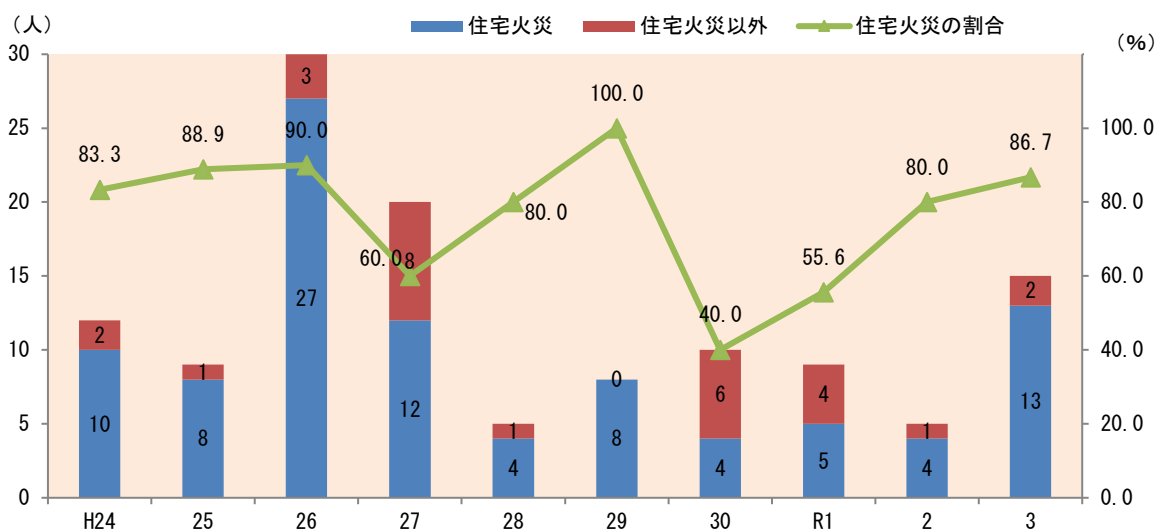
（備考） 「放火（疑いを含む）」には、放火自殺者を含む。

(6) 住宅火災による発生状況

過去10年間の火災による死者（123人）のうち、「住宅火災」によるものは95人となっており、住宅火災の割合をみると、平成30年には4割まで減少しているが、それ以降増加傾向となっている（第3-6図）。

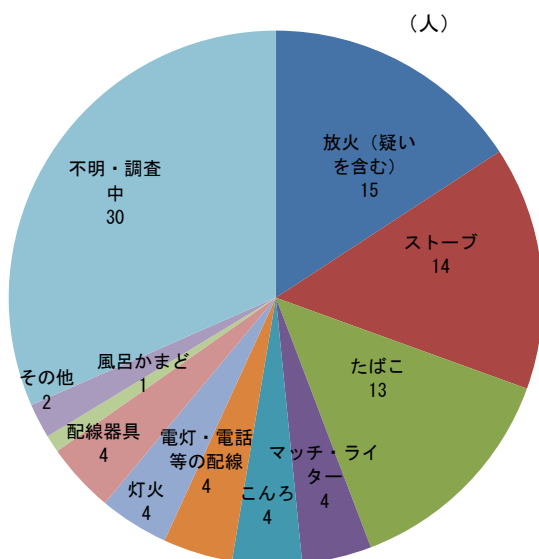
過去10年間の住宅火災による死者（95人）を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」による死者が15人で最も多く、次いで「ストーブ」が14人となっている。また、一人暮らしの割合をみると、約4割が一人暮らしとなっている（第3-7・8図）。

第3-6図 住宅火災における出火原因別死者発生状況



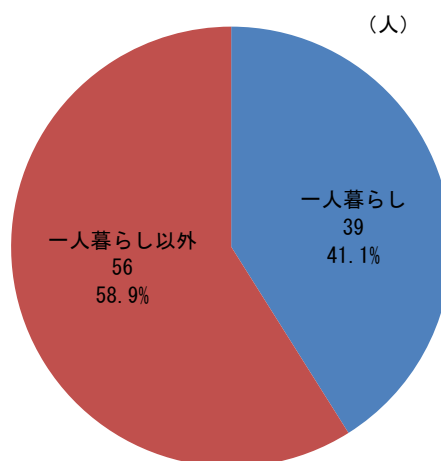
（備考） 「住宅火災」及び「住宅火災以外」の死者数は左軸を、「住宅火災の割合」は右軸を参照。

第3-7図 住宅火災における出火原因別死者発生状況
(平成24年～令和3年)



（備考） 1 「放火（疑いを含む）」には、放火自殺者を含む。
2 「その他」とは、こたつ等をいう。

第3-8図 住宅火災死者における一人暮らしの割合 (平成24年～令和3年)



4 火災による負傷者の状況

(1) 火災による負傷者の状況

令和3年の負傷者は39人で、前年の51人に比べて12人減少している。

火災種別をみると「建物火災」による負傷者が37人で最も多く、全体の94.9%を占めている。

また、令和3年中の負傷者（39人）のうち、65歳以上の高齢者は20人であり、全体の51.3%となっている（第4-1表）。

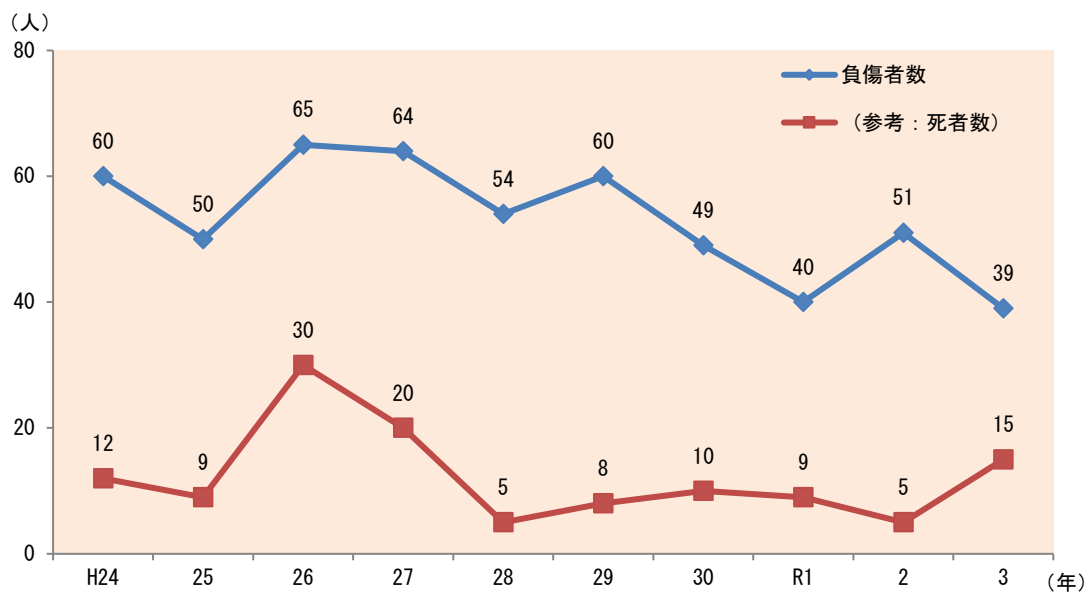
過去10年間の負傷者数をみると、年によって増減を繰り返しており、顕著な傾向は認められない。火災100件当たりの負傷者数は減少傾向にあり、令和2年が22.3人であるのに対し、令和3年は15.8人となっている（第4-1・2図）。

第4-1表 火災による負傷者発生状況

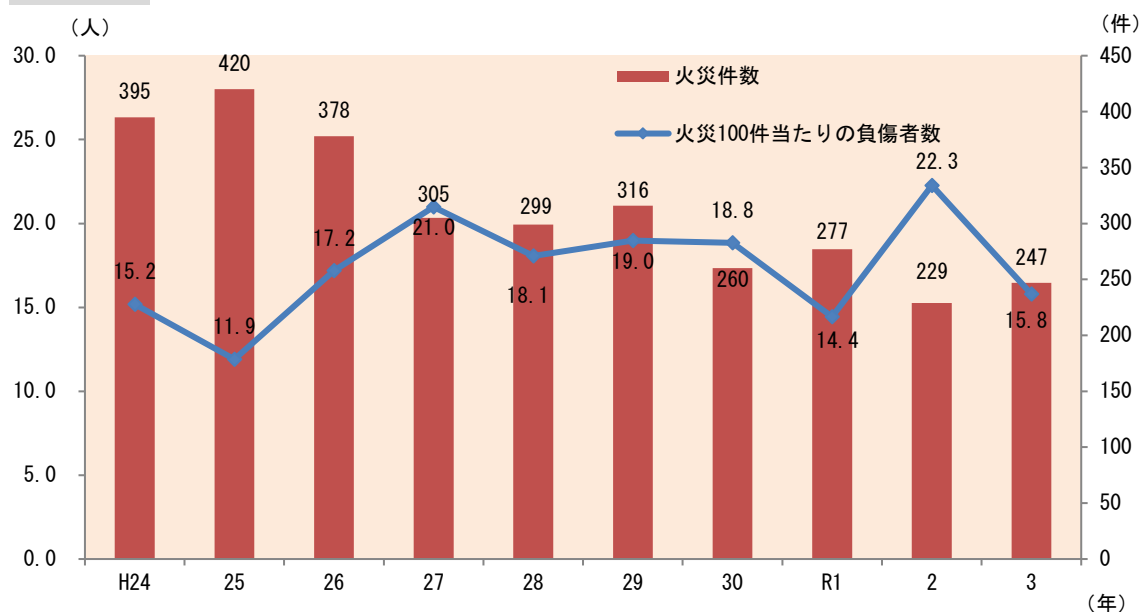
(人)

区分	65歳未満		65歳以上		総計		増減数
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	
建物火災	18	31	19	15	37	46	▲9
林野火災	0	0	0	2	0	2	▲2
車両火災	0	0	0	1	0	1	▲1
その他の火災	1	1	1	1	2	2	0
総計	19	32	20	19	39	51	▲12

第4-1図 火災による負傷者数の推移



第4-2図 火災100件当たりの負傷者数の推移



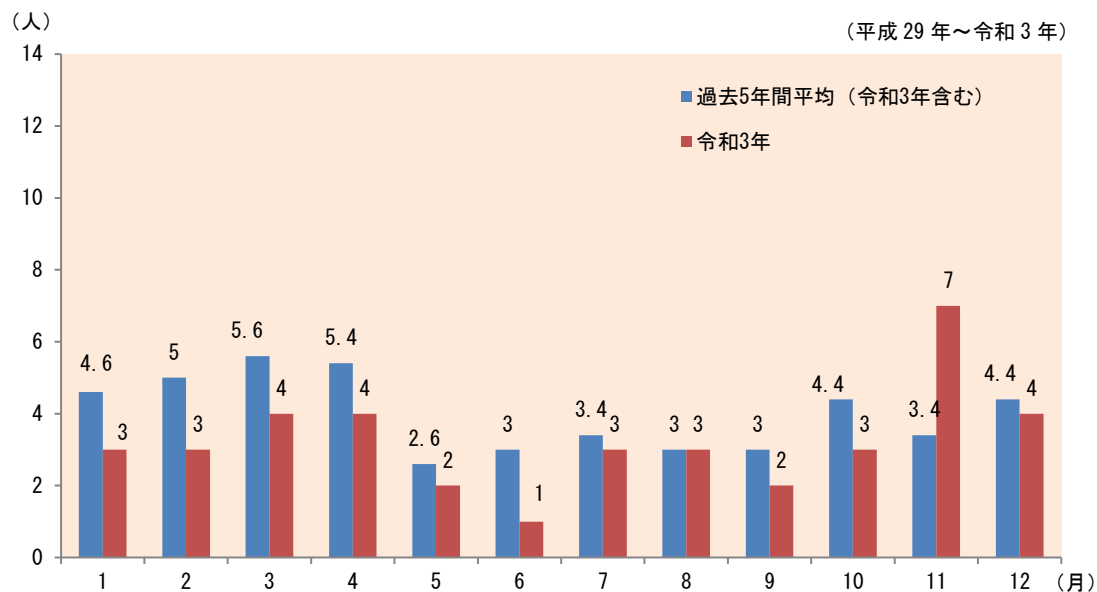
(備考) 「火災100件当たりの負傷者数」は左軸を、「火災件数」は右軸を参照。

(2) 月別発生状況

令和3年中の火災による負傷者(39人)を月別にみると、「11月」が7人と最も多く、次いで、「3月」、「4月」及び「12月」がそれぞれ4人となっている。

また、過去5年間の平均負傷者発生状況をみると、各季節に偏りがなく、顕著な傾向は認められない(第4-3図)。

第4-3図 火災による月別負傷者数



(3) 負傷原因別発生状況

令和3年中の火災による負傷者（39人）を負傷原因別にみると、「火傷・熱傷」が25人で最も多く、次いで、「気道炎」が7人となっている。

また、行動別にみると、「消火中」が20人で最も多く、次いで、「避難中」が10人となっている（第4-2表）。

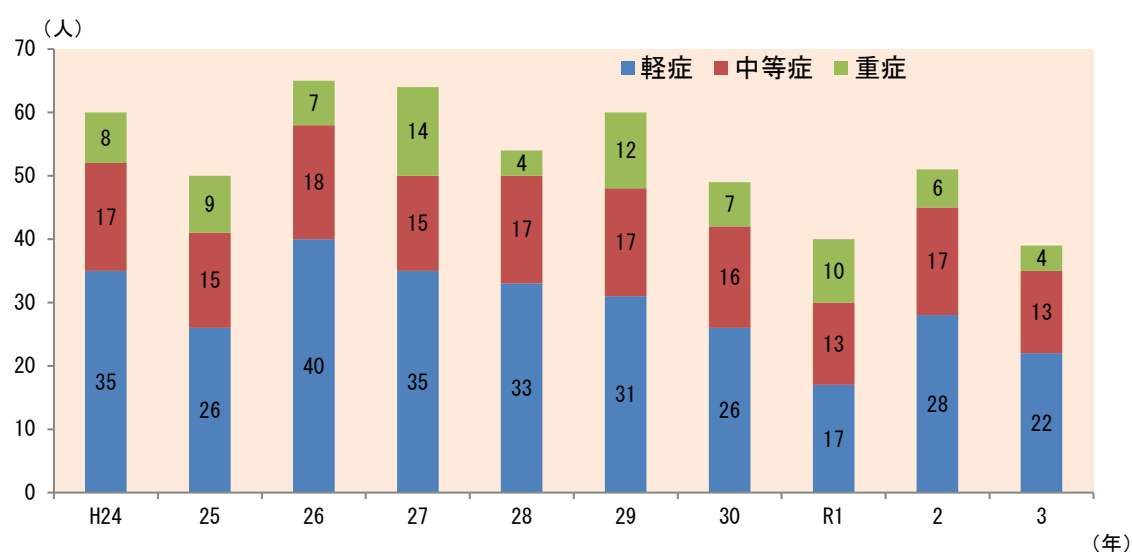
第4-2表 令和3年負傷原因別・行動別負傷者発生状況 (人)

行動区分 負傷原因	消火中	避難中	作業中	その他	総計
火傷・熱傷	16	3	5	1	25
気道炎	2	4	0	1	7
一酸化炭素中毒	0	2	0	2	4
眼炎	1	0	0	0	1
骨折	0	1	0	0	1
その他	1	0	0	0	1
総計	20	10	5	4	39

(4) 負傷程度別負傷者発生状況

過去10年間の負傷者（532人）を負傷程度別にみると、「軽症」が最も多く、55.1%を占めている。「重症」の割合は、令和元年が最も高く、4人に1人（25%）が重症となっている（第4-4図）。

第4-4図 負傷程度別負傷者発生状況



- (備考)
- 1 「重症」とは、3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
 - 2 「中等症」とは、重症又は軽症以外のものをいう。
 - 3 「軽症」とは、入院加療を必要としないものをいう。

5 出火原因

(1) 出火原因別発生状況

令和3年中の火災（247件）を出火原因別にみると、「たばこ」による火災が32件、次いで、「こんろ」及び「放火（疑いを含む）」による火災が30件、「たき火」による火災が20件となっている（第5－1表）。

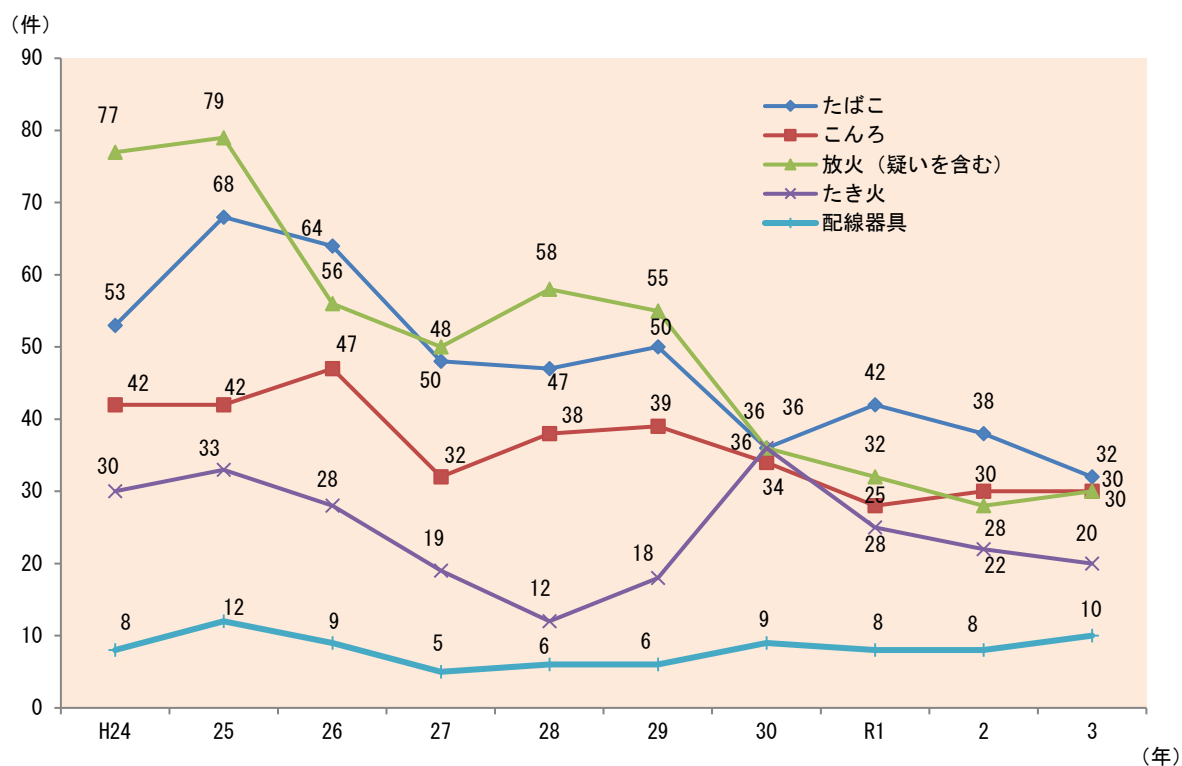
また、過去10年間の火災件数の推移をみると、「放火（疑いを含む）」及び「たばこ」が顕著な減少傾向である一方、「こんろ」、「たき火」及び「配線器具」はほぼ横ばいとなっている（第5－1図）。

月別火災件数をみると、「放火（疑いを含む）」は夏季（6月～8月）に著しく少なく、季節差が生じているのに対し、「配線器具」は季節に偏りが無い（第5－2図）。

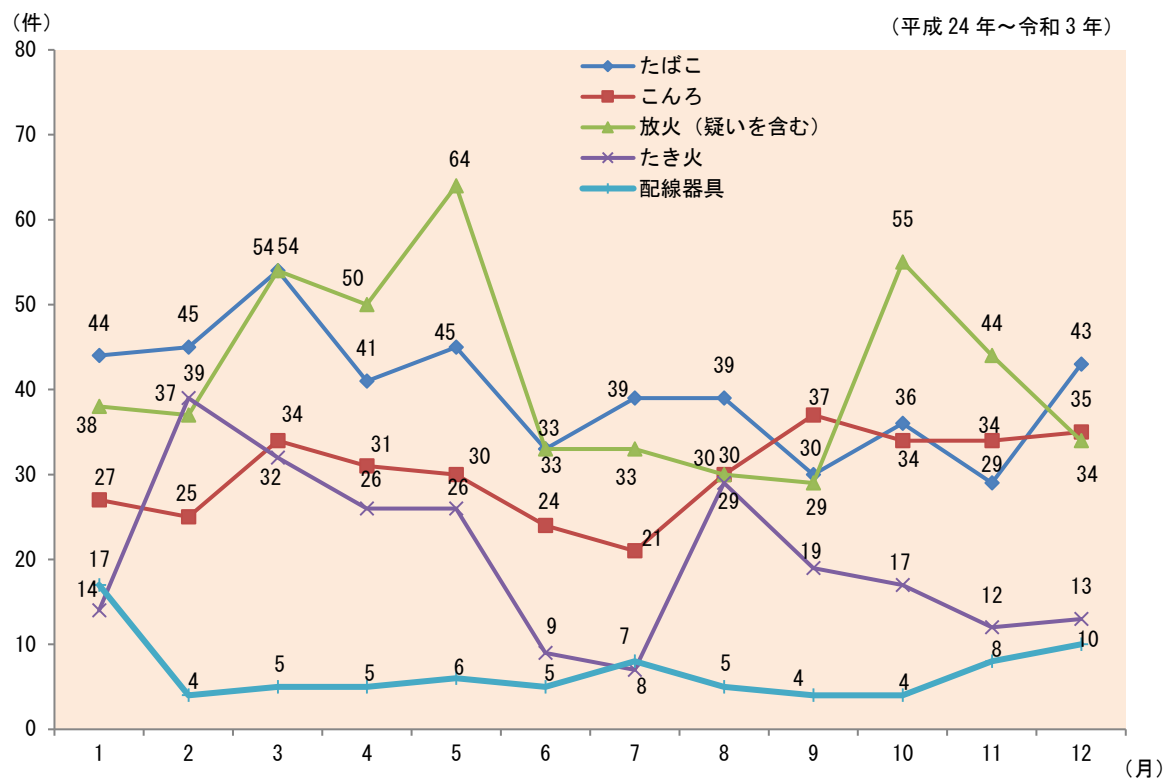
第5－1表 令和3年主な出火原因別の火災件数

	件数（件）	構成比（％）	前年比（件）	増減率（％）
たばこ	32	13.0	▲6	▲15.8
こんろ	30	12.1	0	0.0
放火（疑いを含む）	30	12.1	2	7.1
たき火	20	8.1	▲2	▲9.1
配線器具	10	4.0	2	25.0
電気機器	10	4.0	2	25.0
火あそび	10	4.0	5	100.0
排気管	10	4.0	5	100.0
電灯・電話等の配線	9	3.6	0	0.0
ストーブ	9	3.6	4	80.0
灯火	5	2.0	1	25.0
焼却炉	3	1.2	▲1	▲25.0
火入れ	2	0.8	▲2	▲50.0
取灰	2	0.8	▲1	▲33.3
電気装置	2	0.8	1	100.0
溶接機・切断機	1	0.4	▲3	▲75.0
こたつ	1	0.4	1	100.0
炉	1	0.4	1	100.0
マッチライター	0	0.0	▲2	▲100.0
煙突・煙道	0	0.0	▲1	▲100.0
内燃機関	0	0.0	▲1	▲100.0
その他	37	15.0	7	23.3
不明・調査中	23	9.3	6	35.3
総計	247	100.0	18	7.9

第５－１図 出火原因（上位５位）の火災件数の推移



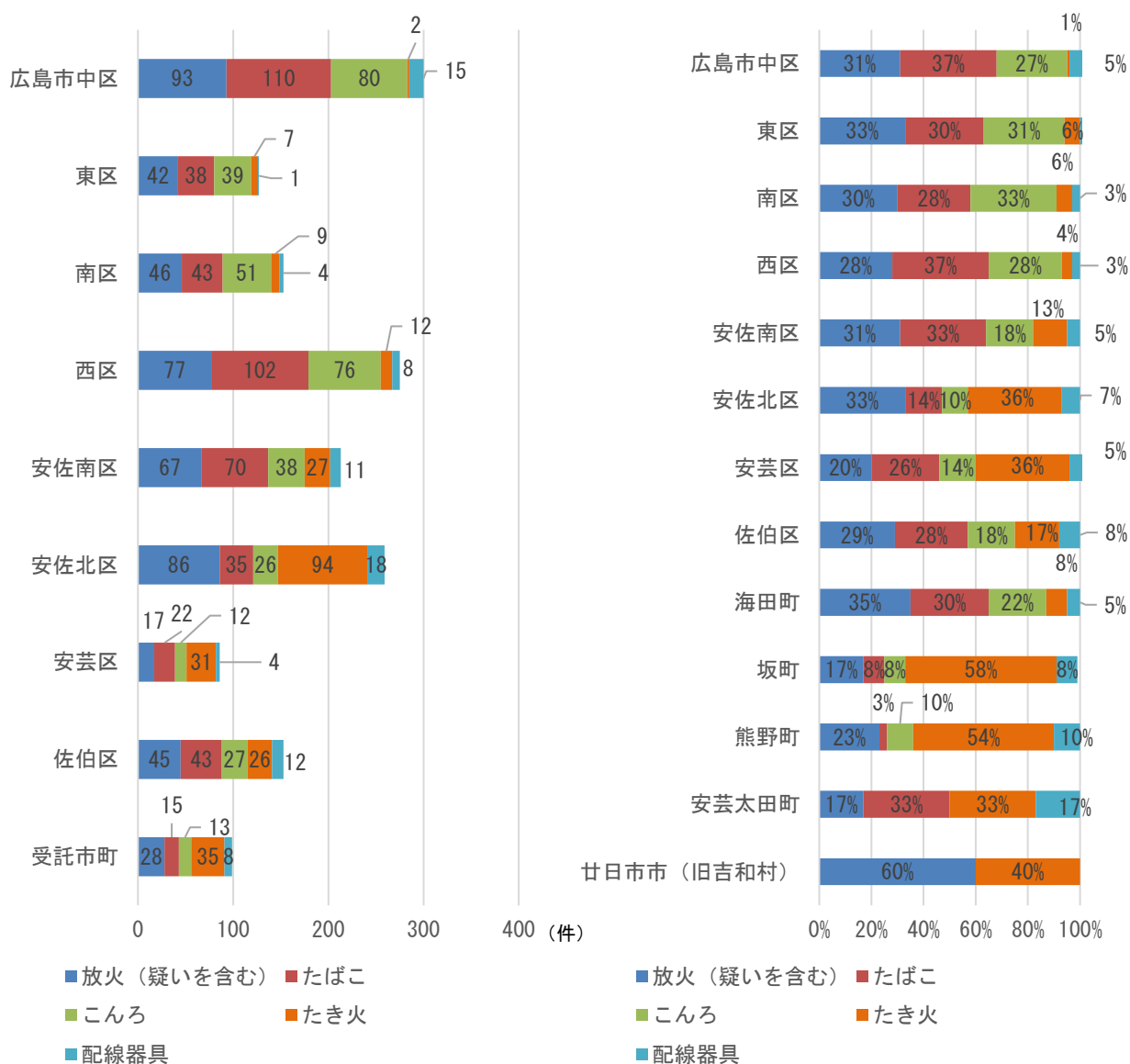
第５－２図 出火原因（上位５位）の月別火災発生件数



(2) 行政区・受託市町別出火原因件数

過去10年間の行政区・受託市町別出火原因をみると、「たばこ」及び「たき火」の割合は地域によって大きく変化しているのに対し、「配線器具」はどの地域も大差なく5%前後となっている（第5－3図）。

第5－3図 行政区・受託市町別出火原因件数及び割合（平成24年～令和3年）



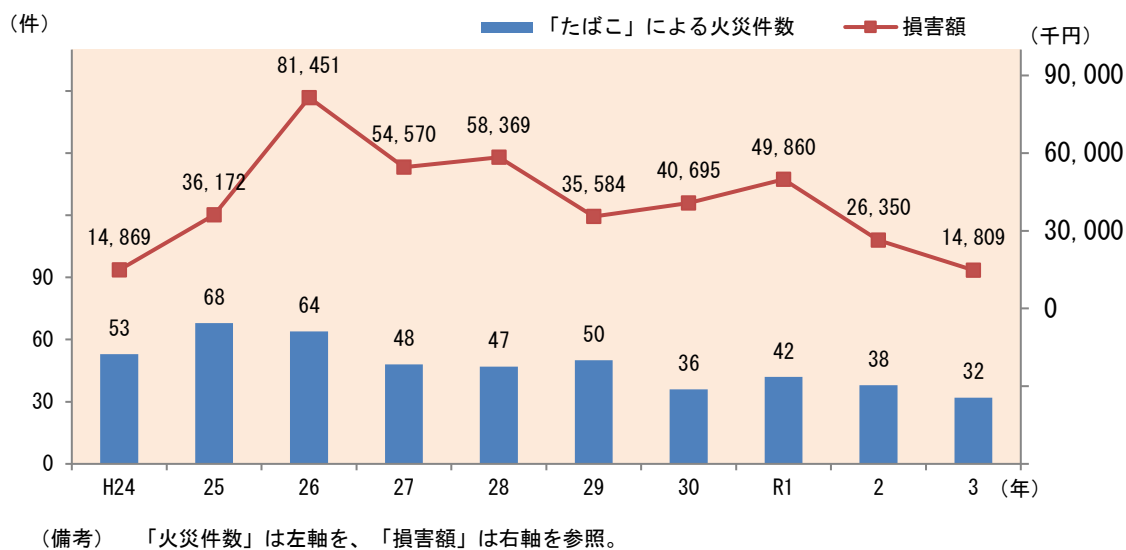
※出火原因別件数の割合合計が、四捨五入により100%にならない場合がある。

(3) 「たばこ」による火災の推移と傾向

令和3年中の「たばこ」による火災は32件で、全火災（247件）の13.0%を占めている。
過去10年間の火災件数をみると、68件であった平成25年以降おおむね減少傾向となっており、損害額は平成26年が8,145万1千円と最も高く、それ以降は緩やかな減少傾向となっている（第5-4図）。

令和3年中の主な経過別火災件数をみると、火種の残った吸い殻をゴミ箱やビニール袋に捨てる等の「不適当なところに捨てる」が23件（71.9%）と7割以上を占めている（第5-2表）。

第5-4図 「たばこ」による火災件数の推移



第5-2表 「たばこ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	たばこ		
	令和3年	令和2年	増減数
火災件数 (件)	32	38	▲6
建物火災	18	24	▲6
林野火災	2	1	1
車両火災	0	1	▲1
その他の火災	12	12	0
経過別火災件数 (件)			
不適当なところに捨てる	23	33	▲10
火源が転倒落下する	5	5	0
不適当なところに置く	2	0	2
火源が動いて接触する	1	0	1
残り火の処置が不十分	1	0	1
建物焼損床面積 (㎡)	223	116	107
建物焼損表面積 (㎡)	11	44	▲33
損害額 (千円)	14,809	26,350	▲11,541

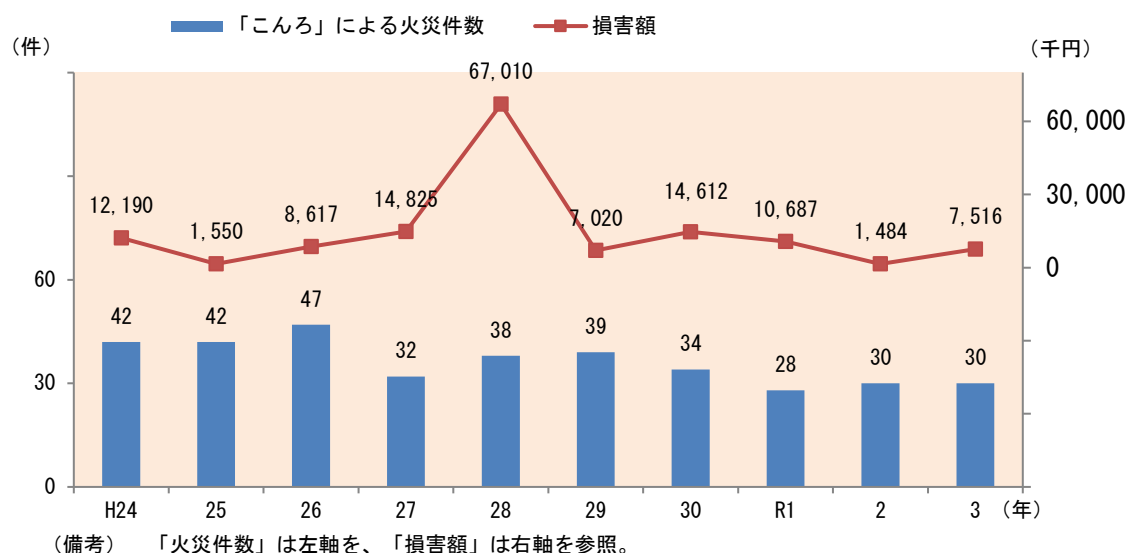
(4) 「こんろ」による火災の推移と傾向

令和3年中の「こんろ」による火災は30件で、全火災（247件）の12.1%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、47件であった平成26年から減少しているものの、平成27年以降は30件前後でほぼ横ばい状態となっている。損害額は平成28年が6,701万円と最も高く、令和2年が1,484千円と最も低い（第5-5図）。

令和3年中の主な経過別火災件数をみると、「放置する」が15件と5割を占めており、次いで、「忘れる」が4件となっている（第5-3表）。

第5-5図 「こんろ」による火災件数の推移



第5-3表 「こんろ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	こんろ		
	令和3年	令和2年	増減数
火災件数 (件)	30	30	0
建物火災	30	30	0
経過別火災件数 (件)			
放置する	15	16	▲1
忘れる	4	4	0
引火する	3	1	2
考え違いにより使用を誤る	2	2	0
可燃物が動いて火源に触れる	1	3	▲2
過熱する (煮すぎ)	1	2	▲1
接炎する	1	1	0
その他	3	1	2
建物焼損床面積 (㎡)	139	33	106
建物焼損表面積 (㎡)	33	18	15
損害額 (千円)	7,516	1,484	6,032

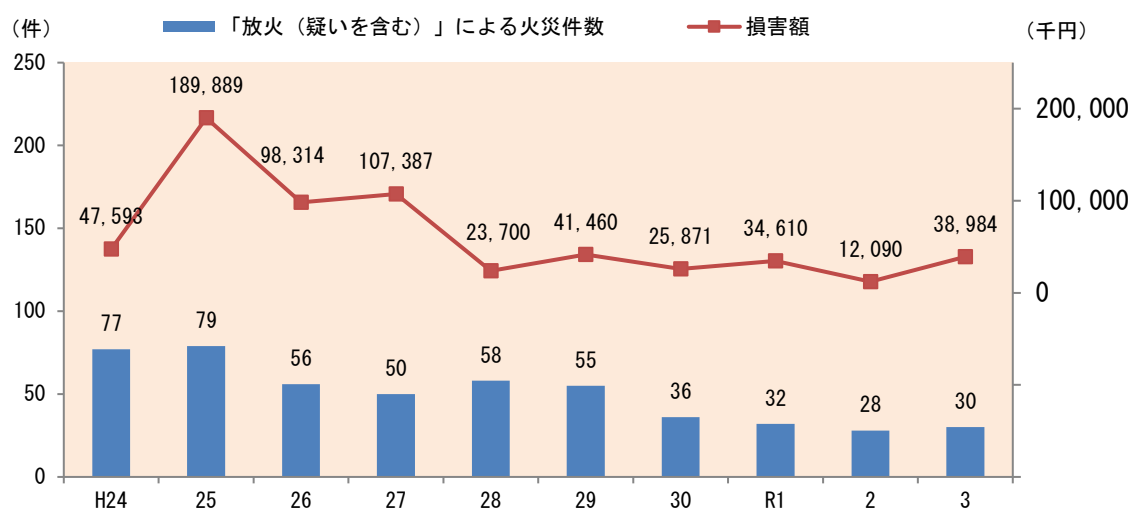
(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向

令和３年中の「放火（疑いを含む）」による火災は３０件で、全火災（２４７件）の１２．１％を占めている。火災種別をみると、「建物火災」が前年に比べ６件増加する一方、「その他の火災」は７件減少している（第５－４表）。

過去１０年間の火災件数をみると、７９件であった平成２５年以降おおむね減少傾向となっており、損害額についても平成２５年以降おおむね減少傾向となっている（第５－６図）。

過去５年間の件数を行政区別にみると、「中区」及び「安佐北区」が２８件で最も多く、次いで、「南区」が２５件となっている。一方、「安芸区」が１０件で最も少ない（第５－５表）。

第５－６図 「放火（疑いを含む）」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第５－４表 「放火（疑いを含む）」による火災の損害状況等

区分	放火（疑いを含む）		
	令和３年	令和２年	増減数
火災件数（件）	30	28	2
建物火災	20	14	6
車両火災	4	1	3
その他の火災	6	13	▲7
建物焼損床面積（㎡）	345	100	245
建物焼損表面積（㎡）	147	63	84
損害額（千円）	38,984	12,090	26,894

第5－5表 「放火（疑いを含む）」による火災の行政区別発生件数

(件)

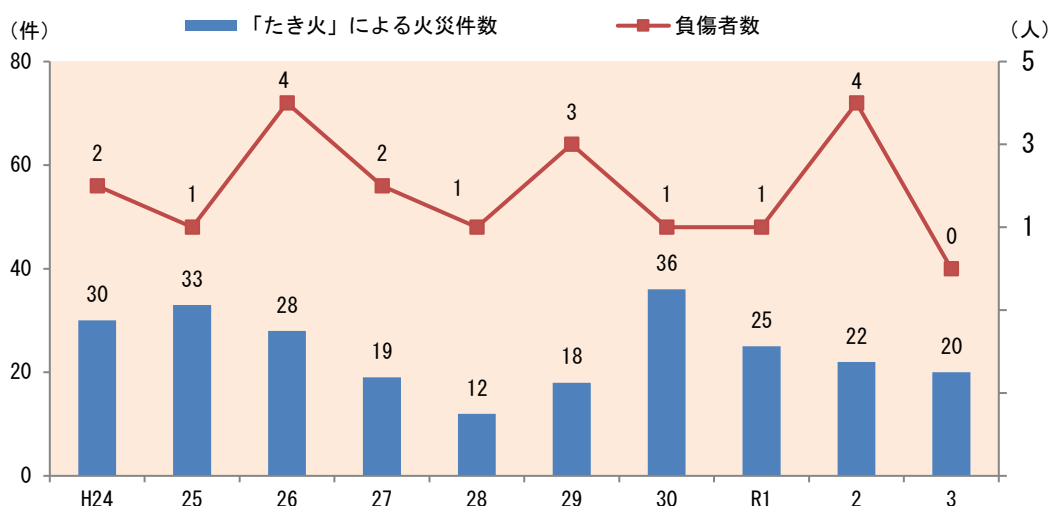
区分		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	過去 5 年間 計	年平均
広島市	中区	9	3	9	5	2	28	5.6
	東区	4	6	2	1	3	16	3.2
	南区	7	3	5	5	5	25	5
	西区	7	4	5	4	2	22	4.4
	安佐南区	6	3	5	2	4	20	4
	安佐北区	8	11	2	4	3	28	5.6
	安芸区	3	1	1	2	3	10	2
	佐伯区	7	4	0	3	4	18	3.6
広島市 計		51	35	29	26	26	167	33.4
受託市町	安芸郡海田町	1	1	2	1	4	9	1.8
	安芸郡坂町	1	0	0	0	0	1	0.2
	安芸郡熊野町	2	0	0	1	0	3	0.6
	安芸太田町	0	0	1	0	0	1	0.2
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0
受託市町 計		4	1	3	2	4	14	2.8
総計		55	36	32	28	30	181	36.2

(6) 「たき火」による火災の推移と傾向

令和3年中の「たき火」による火災は20件で、全火災（247件）の8.1%を占めている。
過去10年間の火災件数をみると、33件であった平成25年以降減少傾向にあったが、平成30年に36件まで増加し、それ以降再度減少傾向にある（第5-7図）。

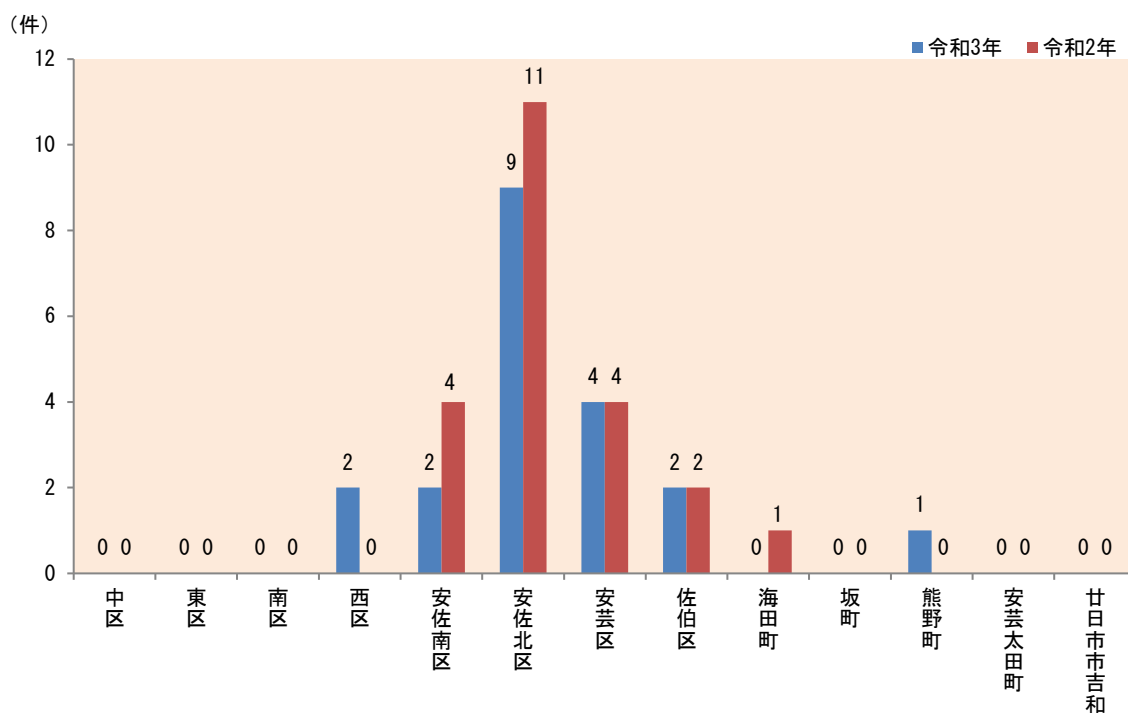
令和3年中の火災件数を行政区別にみると、「安佐北区」が9件で最も多く、他行政区と比較すると顕著に多い（第5-8図）。

第5-7図 「たき火」による火災件数の推移



（備考） 「火災件数」は左軸を、「負傷者数」は右軸を参照。

第5-8図 「たき火」による火災の行政区別発生状況



6 建物火災の主な出火原因

(1) 建物火災の主な出火原因

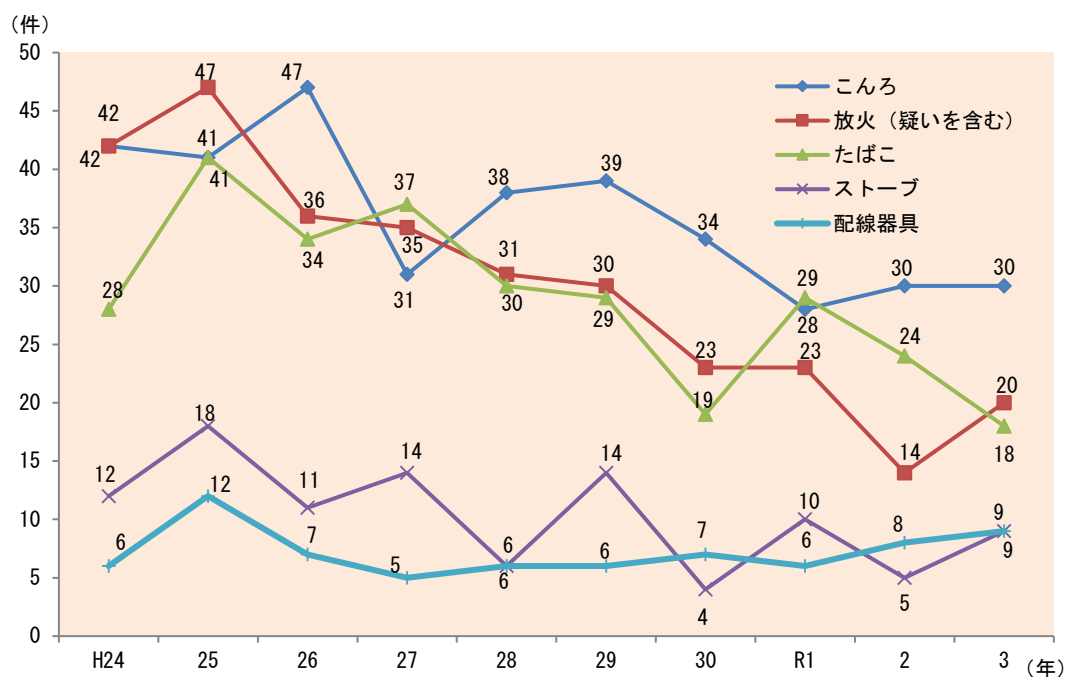
令和3年中の建物火災（154件）を出火原因別にみると、「こんろ」が30件で最も多く、次いで、「放火（疑いを含む）」が20件、「たばこ」が18件となっている（第6－1表）。

過去10年間の建物火災における主な出火原因の推移をみると、「こんろ」、「たばこ」及び「放火（疑いを含む）」が減少傾向にある一方、「ストーブ」及び「配線器具」はほぼ横ばいとなっている（第6－1図）。

第6－1表 建物火災の主な出火原因

区分	令和3年		令和2年		増減数（件）
	件数（件）	構成比（％）	件数（件）	構成比（％）	
こんろ	30	19.5	30	20.7	0
放火（疑いを含む）	20	13.0	14	9.7	6
たばこ	18	11.7	24	16.6	▲6
ストーブ	9	5.8	5	3.4	4
配線器具	9	5.8	8	5.5	1
電灯・電話等の配線	8	5.2	7	4.8	1
火あそび	6	3.9	2	1.4	4
上記以外	54	35.1	55	37.9	▲1
総計	154	100.0	145	100.0	9

第6－1図 建物火災における主な出火原因の推移



(2) 「こんろ」による火災の発生状況

建物火災のうち、「こんろ」による火災（30件）を熱源及び器具別でみると、ガス器具による火災が25件で最も多く、約8割を占めている（第6－2表）。

着火物別にみると、「てんぷら油」が13件で、約4割を占めている（第6－3表）。

初期消火実施状況をみると、初期消火を実施したものは27件で、そのうち、初期消火に成功したものが23件となっている（第6－2図）。

第6－2表 「こんろ」による火災の器具別火災件数

(件)

区分		令和3年	令和2年	増減
熱源別	器具別			
電気	電磁調理器（IH調理器）	2	5	▲3
	電気クッキングヒーター	1	1	0
	電気こんろ	1	1	0
	電気 計	4	7	▲3
ガス	都市ガス			
	ガスこんろ・テーブル	20	12	8
	大型こんろ	0	1	▲1
	都市ガス 計	20	13	7
	液化石油ガス			
	ガスこんろ・テーブル	4	5	▲1
	簡易型ガスこんろ（カセット型）	1	3	▲2
	大型こんろ	0	1	▲1
その他	液化石油ガス 計	5	9	▲4
	ガス器具 合計	25	22	3
	七輪こんろ	1	0	1
	アルコールこんろ	0	1	▲1
その他	その他 計	1	1	0
	総計	30	30	0

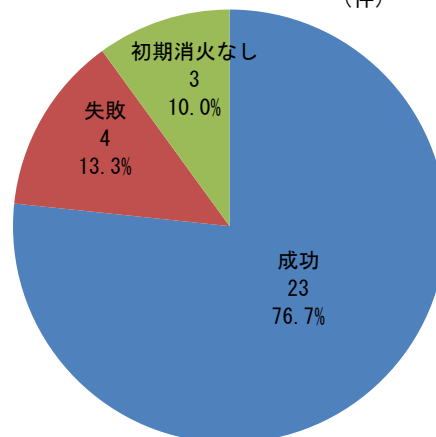
第6－3表 「こんろ」による火災
の着火物別件数

(件)

着火物	令和3年	令和2年
てんぷら油	13	14
動植物油類	4	5
LPG	3	0
衣類	2	0
ごみ屑	2	0
油かす	1	4
その他	5	7
総計	30	30

第6－2図 「こんろ」による火災
の初期消火実施状況(令和3年)

(件)



(3) 「たばこ」による火災の発生状況

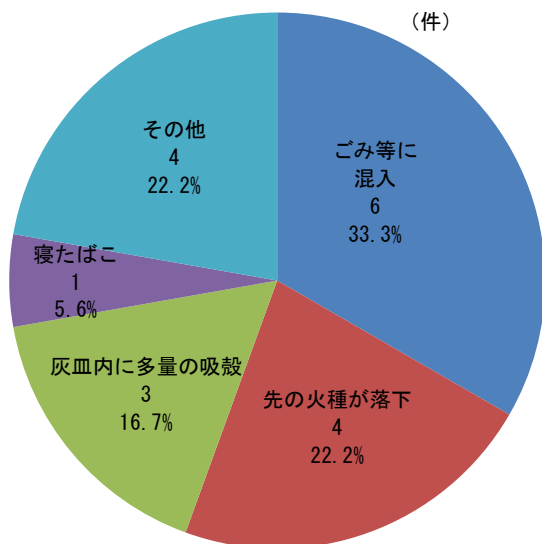
建物火災のうち、「たばこ」による火災（１８件）を出火要因別にみると、「ごみ等に混入」が６件で最も多く、次いで、「先の火種が落下」が４件となっている（第６－３図）。

着火物別にみると、「ごみ類」が１１件で最も多く、次いで、「寝具」が４件となっている（第６－４図）。

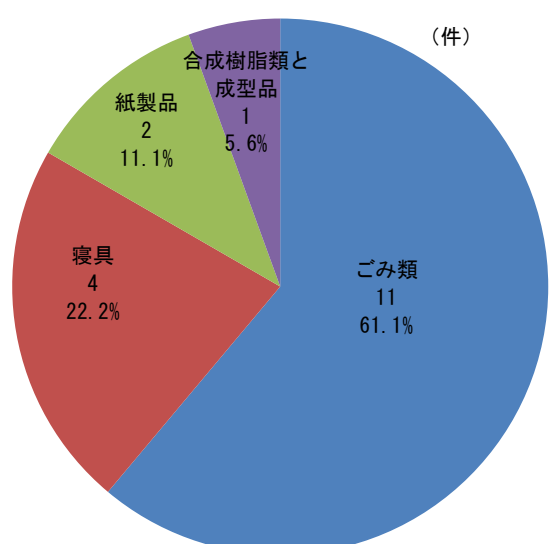
出火箇所別にみると、「住居部分」が１０件で最も多く、そのうち、「居室」が６件となっている（第６－５図）。

「たばこ」による火災は、「ごみ等に混入」や「灰皿内に多量の吸殻」などの吸い殻の処理方法に起因するものが約５割を占めているため、処理方法を改善することが火災予防に直結するといえる。

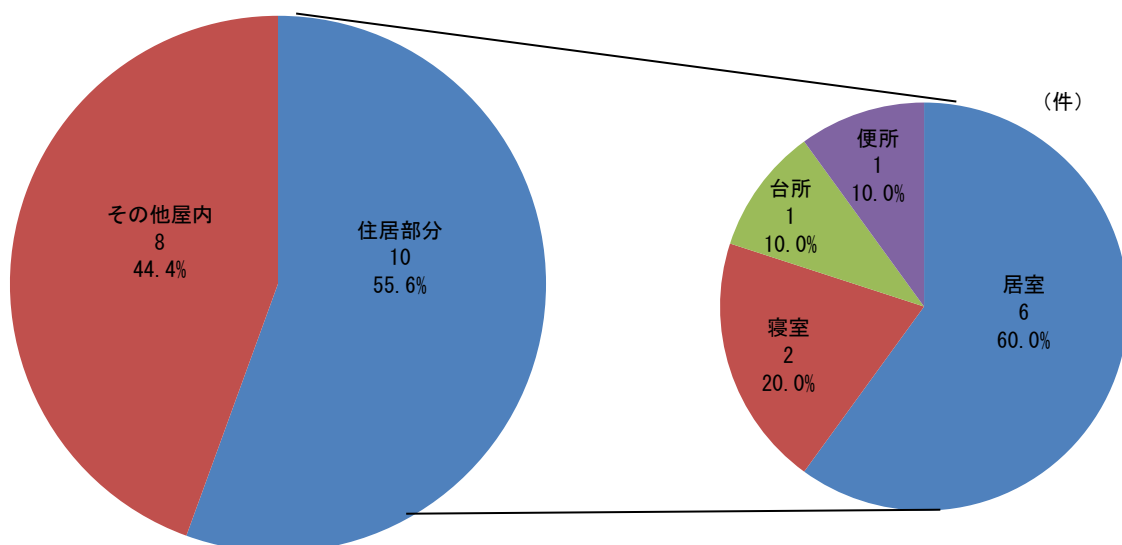
第６－３図 「たばこ」による火災
の出火要因別件数（令和３年）



第６－４図 「たばこ」による火災
の着火物別件数（令和３年）



第６－５図 建物火災のうち、「たばこ」による火災の出火箇所別件数（令和３年）



（備考） 「その他屋内」とは、ベランダ、バルコニー等をいう。

(4) 「ストーブ」による火災の発生状況

令和3年中の「ストーブ」による火災は9件で、前年に比べ4件増加している。

器具別にみると、「電気ストーブ（開放式）」及び「石油ストーブ（開放式）」によるものが4件で最も多い。（第6－4表）。

過去10年間の器具別件数の推移をみると、「電気ストーブ」は増減を繰り返しながらも緩やかな減少傾向となっており、「石油ストーブ」は増減を繰り返しながらほぼ横ばいとなっている（第6－6図）。

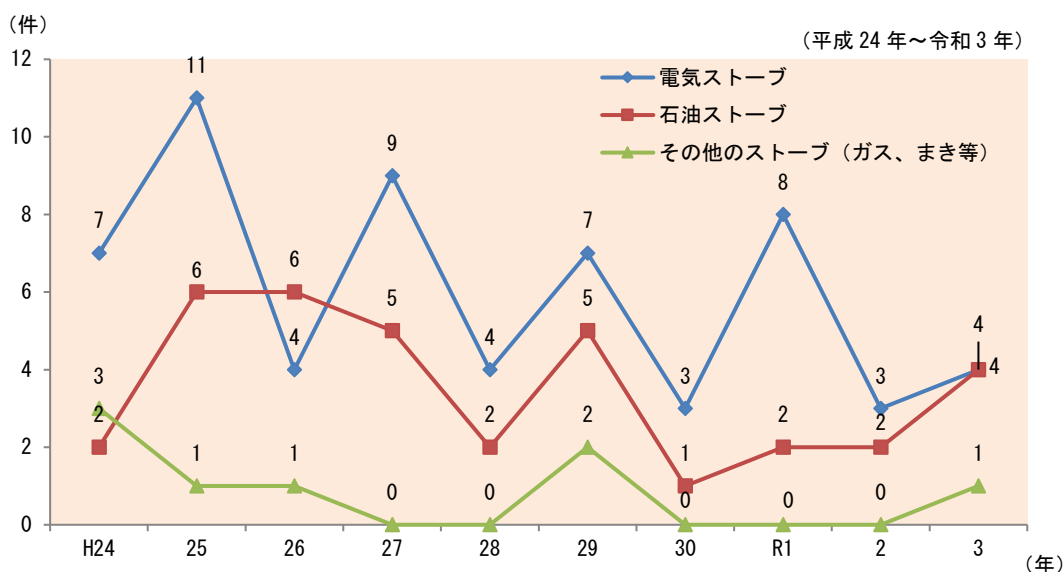
「ストーブ」による火災の傾向として、可燃物が何らかの形で接触することによるものが多くを占めているため、ストーブの使用環境を改めることが火災予防に効果的であるといえる。

第6－4表 「ストーブ」による火災の器具別・経過別件数

(件)

区分		令和3年	令和2年	増減
器具別	経過別			
石油ストーブ（開放式）	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	1	0
	本来の用途以外の不適な用に用いる	1	1	0
	燃料を間違える	1	0	1
	蓋の締め付けが不完全	1	0	1
	石油ストーブ 計	4	2	2
電気ストーブ（開放式）	可燃物が動いて火源に触れる	4	0	4
	可燃物が火源の上に転倒落下する	0	1	▲1
	構造不完全デザイン不良	0	1	▲1
	考え違いにより使用を誤る	0	1	▲1
	電気ストーブ 計	4	3	1
ガスストーブ（開放式）	引火する	1	0	1
	ガスストーブ 計	1	0	1
総計		9	5	4

第6－6図 「ストーブ」による火災の器具別件数の推移



(5) 「配線器具」による火災の発生状況

令和3年中の「配線器具」による火災は9件で、前年に比べ1件増加している。

発火源別でみると、「プラグ」が5件で最も多い（第6－5表）。

過去5年間の経過別でみると、「スパークする」が18件で最も多く、次いで、「電線が短絡する」が6件となっている（第6－7図）。

「配線器具」による火災の傾向として、「トラッキング」、「電線の短絡」、「半断線」等、コンセントから電線に至るまでの適切な管理がされていないために発生するものが多くを占めているため、電源周りの定期的な手入れ等を行うことが火災予防に効果的であるといえる。

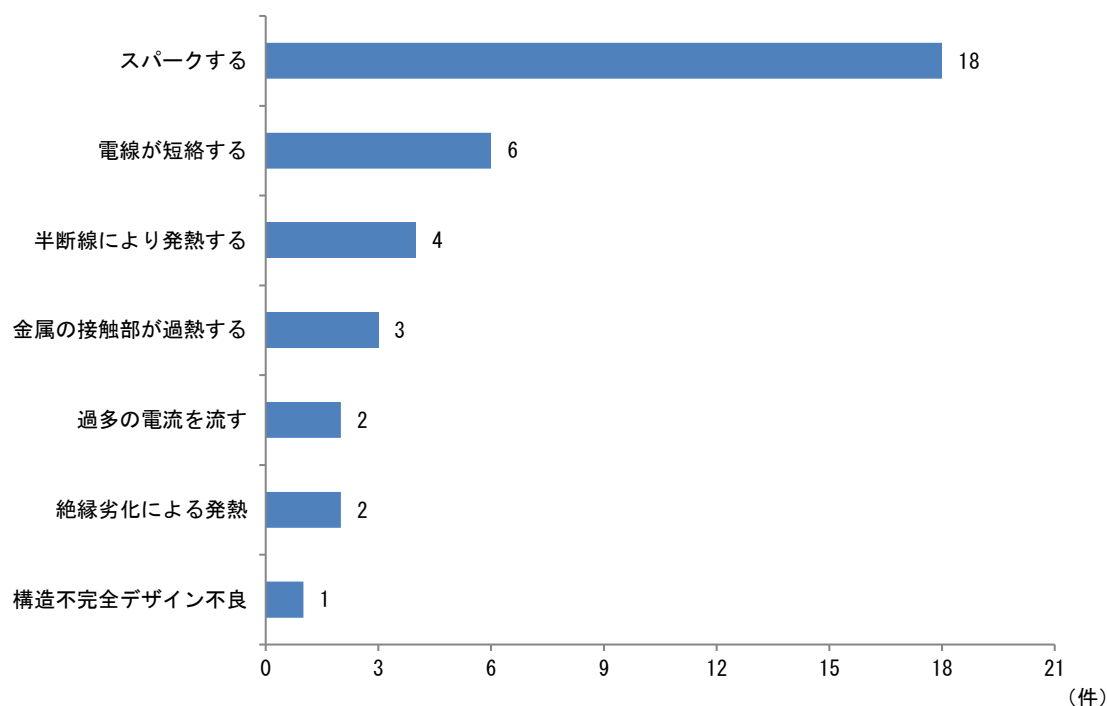
第6－5表 「配線器具」による火災の発火源別件数

(件)

区分	令和3年	令和2年	増減
プラグ	5	2	3
テーブルタップ	4	3	1
ソケット	0	1	▲1
接続器	0	1	▲1
その他の配線器具	0	1	▲1
総計	9	8	1

第6－7図 過去5年間の「配線器具」による火災の経過別件数

(平成29年～令和3年)



7 林野火災の主な出火原因

令和3年中の林野火災（6件）を出火原因別にみると、「たき火」が3件で最も多く、次いで、「たばこ」が2件、「焼却炉」が1件となっている（第7-1表）。

過去10年間の林野火災件数（70件）を行政区別にみると、「安佐北区」が16件で最も多く、次いで、「安佐南区」が12件となっている（第7-2表）。

第7-1表 林野火災の主な出火原因

区分	令和3年		令和2年		増減数
	件数（件）	構成比（％）	件数（件）	構成比（％）	件数（件）
たき火	3	50.0	3	60.0	0
たばこ	2	33.3	1	20.0	1
焼却炉	1	16.7	1	20.0	0
総計	6	100.0	5	100.0	1

第7-2表 過去10年間の林野火災の行政区別件数（平成24年～令和3年）

区分	行政区別	件数（件）	構成比（％）
広島市	中区	0	0.0
	東区	6	8.6
	南区	2	2.9
	西区	8	11.4
	安佐南区	12	17.1
	安佐北区	16	22.9
	安芸区	10	14.3
	佐伯区	10	14.3
	広島市 計	64	91.4
受託市町	海田町	1	1.4
	坂町	2	2.9
	熊野町	2	2.9
	安芸太田町	1	1.4
	廿日市市吉和	0	0.0
	受託市町 計	6	8.6
総計		70	100.0

8 車両火災の主な出火原因

令和3年中の車両火災（27件）を出火原因別にみると、「排気管」が10件で最も多く、37.0%を占めている。次いで、「電気機器」が5件となっている（第8－1表）。

過去10年間の「排気管」に起因した火災は68件で、発生経過及び着火物別にみると、「着火物が漏洩する」が27件で最も多く、そのうち、エンジンオイル等の「第4石油類」に着火したものが22件となっている。次いで、「可燃物が動いて火源に触れる」が12件で、そのうち、ウエス等の「繊維製品」に着火したものが9件となっている。（第8－2表）。

第8－1表 車両火災の主な原因

区分	令和3年		令和2年		増減数
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	件数（件）
排気管	10	37.0	4	25.0	6
電気機器	5	18.5	3	18.8	2
放火（疑いを含む）	4	14.8	1	6.3	3
たばこ	0	0.0	1	6.3	▲1
電気装置	0	0.0	1	6.3	▲1
その他	8	29.6	6	37.5	2
総計	27	100.0	16	100.0	11

第8－2表 「排気管」による火災の発生経過及び着火物別件数（平成24年～令和3年）

（件）

経過 区分	着火物						
	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	繊維製品	その他可燃物	計
着火物が漏洩する	2	1	2	22	0	0	27
可燃物が動いて火源に触れる	0	0	0	1	9	2	12
衝突により発火（交通事故）	0	0	3	8	0	0	11
高温物が触れる	0	0	0	1	1	3	5
可燃物が火源の上に落下する	0	0	3	0	0	1	4
その他	0	1	0	1	1	6	9
計	2	2	8	33	11	12	68

9 その他の火災の主な出火原因

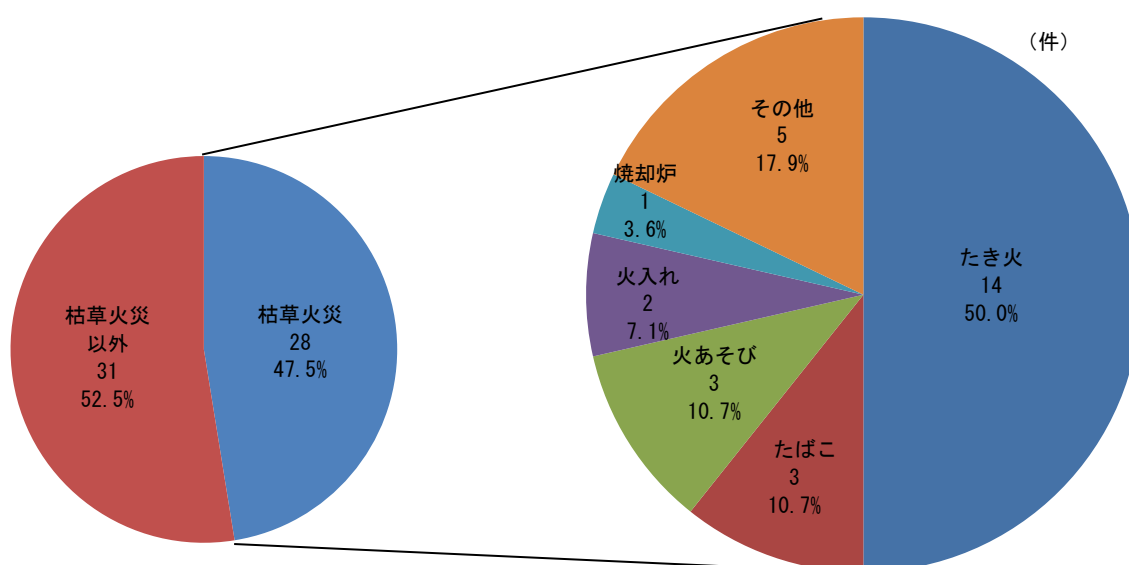
令和3年中のその他の火災（59件）を出火原因別にみると、「たき火」が15件で最も多く、25.4％となっており、次いで、「たばこ」が12件となっている（第9－1表）。

その他の火災のうち、「枯草火災」は28件で、出火原因別内訳は「たき火」が14件で最も多く、次いで、「たばこ」及び「火あそび」がそれぞれ3件となっている（第9－1図）。

第9－1表 その他の火災の主な出火原因

区分	令和3年		令和2年		増減数
	件数（件）	構成比（％）	件数（件）	構成比（％）	件数（件）
たき火	15	25.4	15	23.8	0
たばこ	12	20.3	12	19.0	0
放火（疑いを含む）	6	10.2	13	20.6	▲7
火あそび	4	6.8	3	4.8	1
火入れ	2	3.4	4	6.3	▲2
焼却炉	2	3.4	0	0.0	2
その他	18	30.5	16	25.4	2
総計	59	100.0	63	100.0	▲4

第9－1図 その他の火災のうち、「枯草火災」の出火原因別件数（令和3年）



（備考） 「枯草火災」とは、主な焼損物件が枯草及び落葉等のものをいう。

10 住宅用火災警報器と住宅火災

(1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移

過去10年間の住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）設置率は平成24年から微増傾向であり、平成30年以降は90%付近を推移している。住宅火災件数はおおむね減少傾向となっている（第10-1図）。

なお、住警器設置率※について、平成25年以前が「広島市」のデータで、平成26年以降は「広島市消防局管内（受託市町を含む）」のデータとなっている。

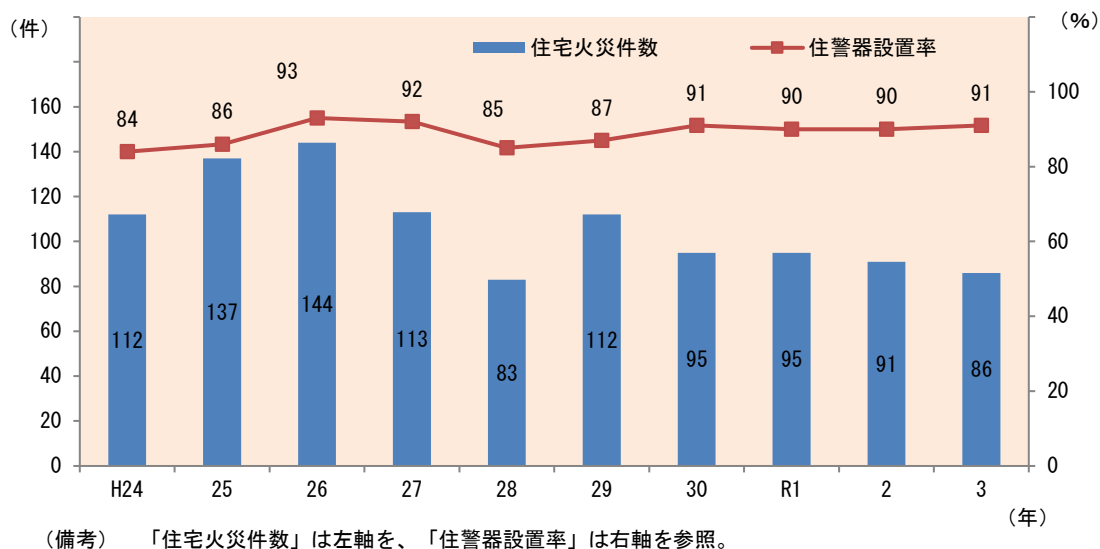
また、1件当たりの焼損状況をみると、焼損床面積は全体的に増加傾向となっており、損害額は平成30年まで増加傾向、以降は減少傾向となっているが、令和3年は一部の大火災により大きく増加している。（第10-2図）。

※住警器設置率とは、広島市消防局管内（受託市町を含む）において調査世帯のうち、住警器が設置されているもしくは一部設置されている世帯の割合を示すもの。（調査世帯は無作為抽出により決定する。）

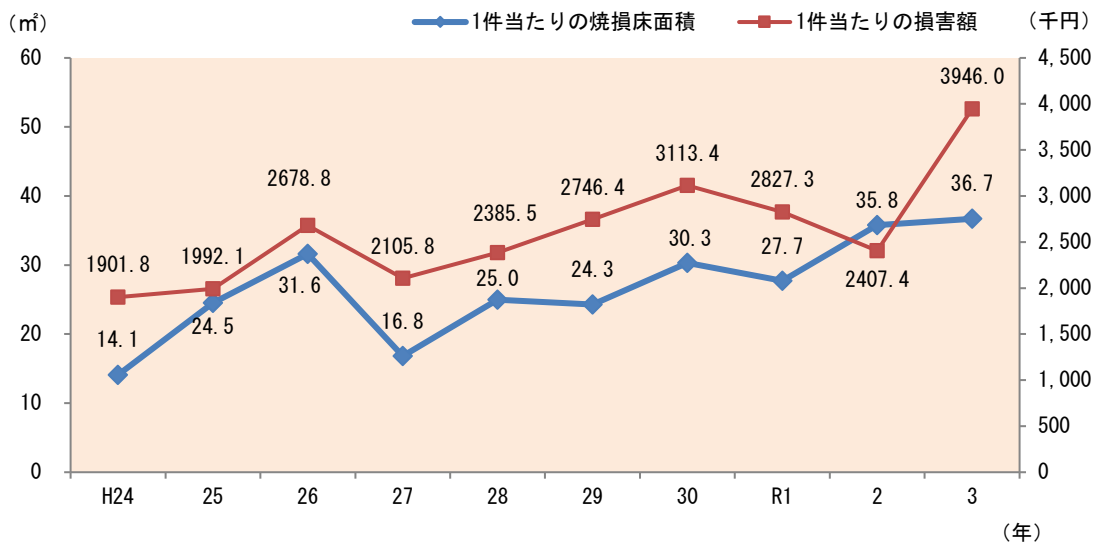
次の計算式により算出する。【（設置世帯数＋一部設置世帯数）÷調査世帯数×100＝住警器設置率】

令和3年の設置率算出…（677世帯＋20世帯）÷768世帯×100＝91%（1署96世帯ずつ調査）

第10-1図 住警器設置率と住宅火災件数の推移



第10-2図 住宅火災1件当たりの焼損床面積及び損害額の推移



(2) 住警器と死傷者

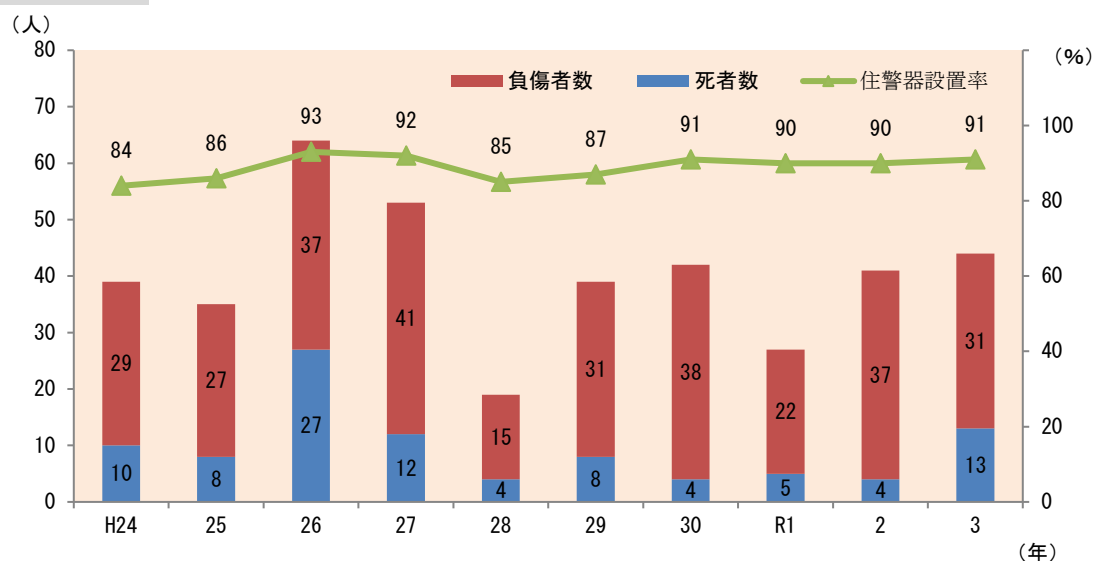
住宅火災による死傷者数はおおむね40人程度を推移しており、住警器設置率との相関性は認められない（第10-3図）。

また、住警器又は自動火災報知設備（以下「自火報」という。）設置状況別の火災100件当たりの死傷者数をみると、死者、負傷者ともに「未設置・設置不明」の方が多くなっている

（第10-4図）。

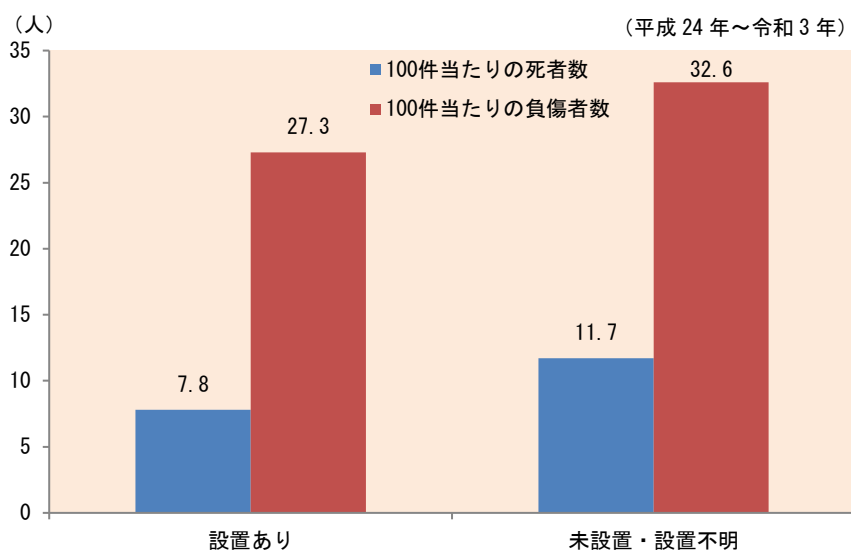
さらに、住警器又は自火報設置状況別の死者概要を見ると、住警器又は自火報の設置の有無に関わらず、65歳以上の割合はともに約7割、一人暮らしの割合はともに約4割となっており、設置の有無との相関性は認められない（第10-5図）。

第10-3図 住警器設置率と住宅火災による死傷者数の推移

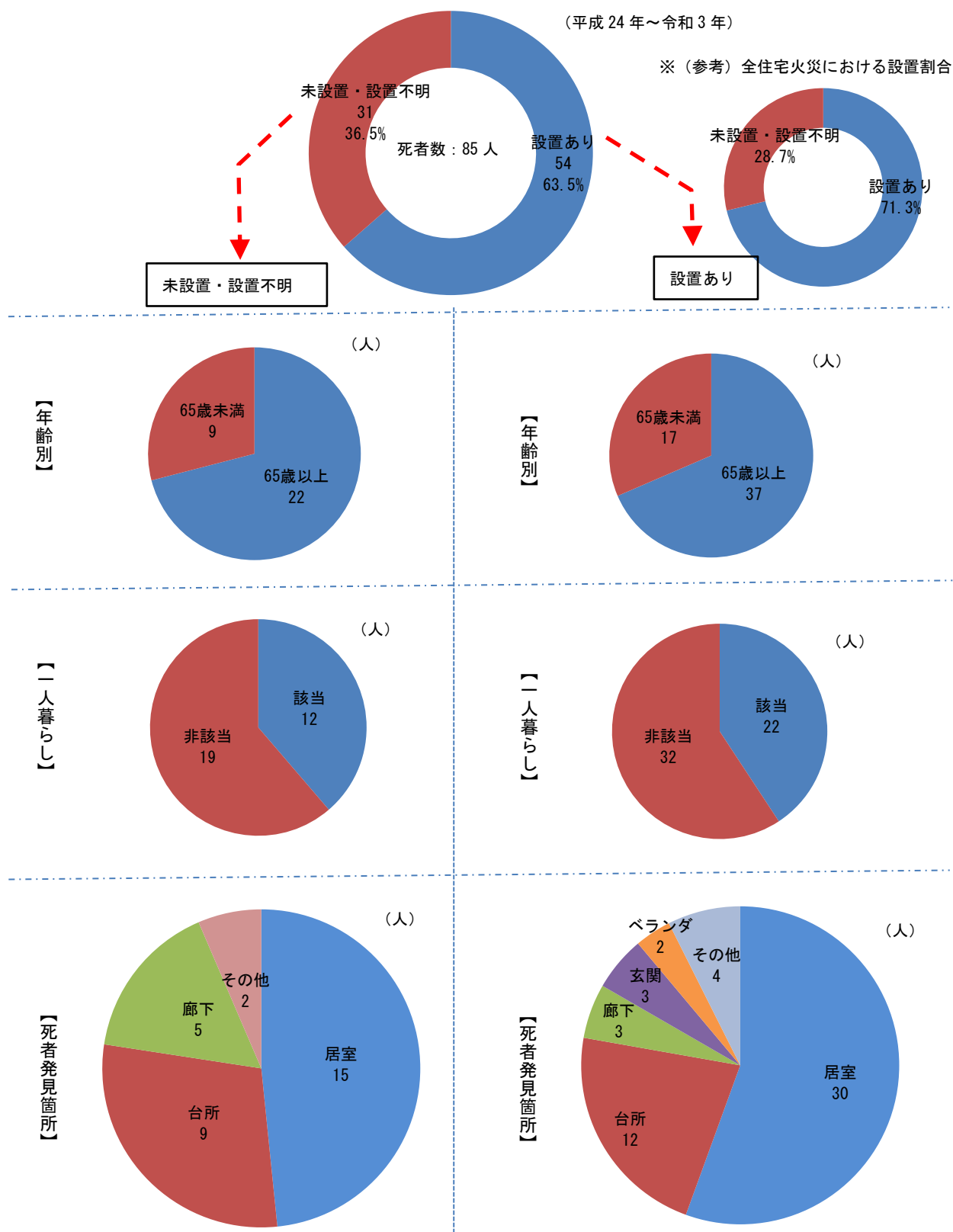


（備考） 「死者数」及び「負傷者数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

第10-4図 過去10年間の住警器（自火報を含む）設置状況別の住宅火災100件当たりの死傷者数



第10-5図 過去10年間の住警器（自火報を含む）設置状況別の死者（放火自殺者を除く）概要



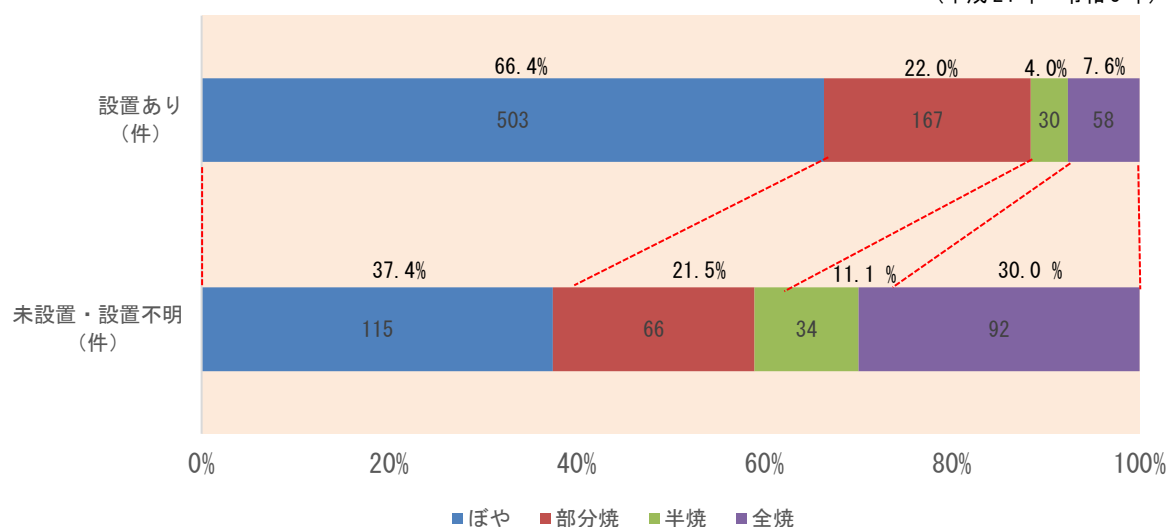
(3) 住警器（自火報を含む）と火災概況

住警器（自火報を含む）設置状況別の焼損程度をみると、「設置あり」が、ぼやが66.4%、全焼が7.6%であるのに対し、「未設置・設置不明」は、ぼやが37.4%、全焼が30.0%となっている（第10-6図）。

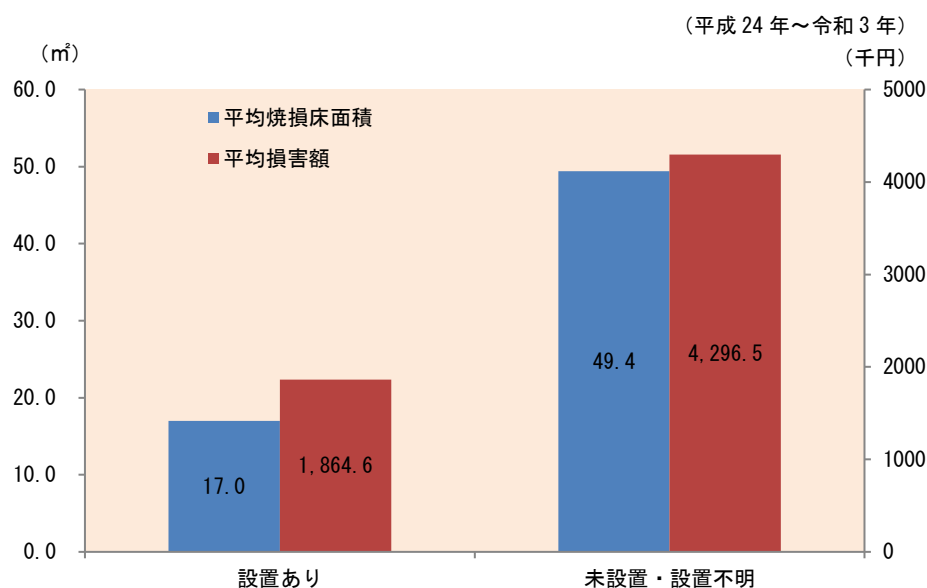
また、住宅火災1件当たりの焼損状況をみると、焼損床面積、損害額ともに「設置あり」と比較して、「未設置・設置不明」の方が大幅に高くなっている（第10-7図）。

これらの各データによって、住警器（自火報を含む）を設置することで、焼損程度・焼損床面積・損害額の全てにおいて被害が軽減されている状況が認められる。

第10-6図 過去10年間の住宅火災における住警器（自火報を含む）設置状況別の焼損程度
(平成24年～令和3年)



第10-7図 過去10年間の住宅火災における住警器（自火報を含む）設置状況別の平均被害状況

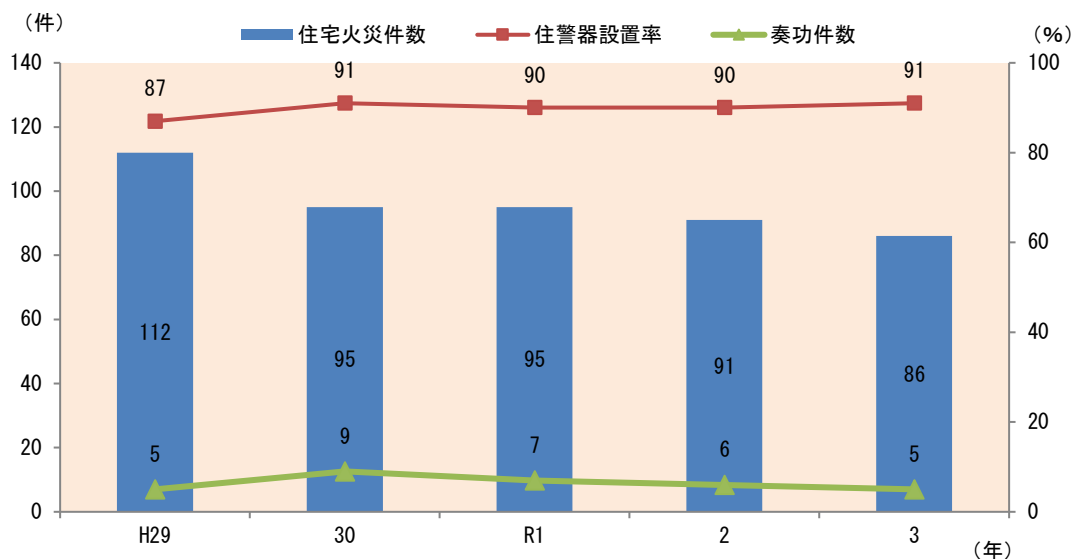


(備考) 「平均焼損床面積」は左軸を、「平均損害額」は右軸を参照。

(4) 住警器奏功事例

過去5年間で、住警器が奏功した事案は32件発生しており、年平均にすると、毎年約6件となっている（第10-8図）。

第10-8図 過去5年間の住警器奏功件数



（備考） 「住宅火災件数」及び「住警器奏功件数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

【事例①】

一般住宅の台所において、居住者が鍋をガスこんろの火にかけたまま外出したことで出火。住警器の警報音を聞き駆けつけた近隣住民が窓ガラスを割り、その窓から消火器を噴射させ消火に成功した。

【事例②】

一般住宅の居室において、居住者が寝たばこをしてしまい、たばこの火種が布団上に落下し、布団から発煙。住警器の警報音で目覚めた居住者が、やかんで水をかけることで消火に成功した。

【事例③】

共同住宅の一室において、電気ストーブのスイッチが誤操作により押下されたことで付近の可燃物と接触し発煙。台所で料理中だった居住者が、住警器の警報音で異変に気づき、対処したことにより火災に至らなかった。



火災の早期発見のため、住警器を設置しようや！
ちゃんと作動するように定期点検も忘れようね！



1 1 別表

第 1 表 覚知別火災概況

区分	総計	火災報知専用電話	警 察 電 話	加 入 電 話	そ の 他
出火件数（件）	247	190	13	6	38
建物	154	120	5	5	24
林野	6	5	－	－	1
車両	27	19	2	－	6
船舶	1	1	－	－	－
航空機	－	－	－	－	－
その他	59	45	6	1	7
焼損棟数（棟）	254	220	6	5	23
全焼	43	43	－	－	－
半焼	18	18	－	－	－
部分焼	65	63	2	－	－
ぼや	128	96	4	5	23
建物焼損床面積（㎡）	6,293	6,286	7	－	－
表面積（㎡）	2,102	2,091	8	1	2
林 野 焼 損 面 積（a）	39	36	－	－	3
死 者（人）	15	15	－	－	－
負傷者（人）	39	33	－	2	4
り災世帯数（世帯）	190	172	4	4	10
全損	37	37	－	－	－
半損	4	4	－	－	－
小損	149	131	4	4	10
り災人員（人）	376	340	14	6	16
損害額（千円）	802,773	800,211	1,086	16	1,460
建物	778,936	776,919	858	16	1,143
林野	290	290	－	－	－
車両	2,154	1,720	122	－	312
船舶	100	100	－	－	－
航空機	－	－	－	－	－
その他	21,293	21,182	106	－	5
爆発	－	－	－	－	－

第2表 月・日別火災件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	247	28	26	22	22	23	8	17	16	9	26	18	32	-
1日	7	1	-	-	1	-	-	1	1	1	2	-	-	-
2日	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-
3日	12	1	2	2	-	4	1	-	1	1	-	-	-	-
4日	11	2	1	1	2	1	-	-	3	-	1	-	-	-
5日	14	1	-	1	-	2	-	-	2	-	3	3	2	-
6日	9	1	1	-	-	1	-	1	2	1	-	1	1	-
7日	13	4	2	-	-	2	-	-	1	2	-	-	2	-
8日	6	1	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-
9日	6	1	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
10日	11	2	1	3	1	2	-	-	-	-	-	1	1	-
11日	8	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-
12日	7	-	1	1	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-
13日	10	1	-	-	-	1	1	-	-	1	1	1	4	-
14日	8	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	3	2	-
15日	4	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-
16日	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-
17日	5	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
18日	7	1	1	2	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
19日	7	1	1	-	1	-	-	-	1	-	1	2	-	-
20日	10	1	2	-	1	-	1	-	1	2	-	-	2	-
21日	9	-	2	1	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-
22日	5	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	1	-	-
23日	9	-	2	-	1	2	-	1	-	-	1	1	1	-
24日	8	1	-	-	1	2	-	-	1	-	3	-	-	-
25日	6	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	3	-
26日	9	-	1	1	3	-	2	1	-	-	-	1	-	-
27日	6	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-
28日	8	2	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
29日	5	2	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-
30日	5	2	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
31日	9	1	-	-	-	-	-	5	1	-	1	-	1	-
不明	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

第3表 月・曜日別火災概況

区分	出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	247	154	6	27	1	－	59	254	43	18	65	128	6,293	2,102	39	15	39
1月	28	20	－	3	－	－	5	24	3	1	8	12	1,821	732	－	2	3
2月	26	8	2	2	－	－	14	12	－	1	5	6	15	272	21	1	3
3月	22	12	1	1	－	－	8	23	2	－	9	12	256	164	2	－	4
4月	22	16	－	1	－	－	5	26	5	2	6	13	1,337	221	－	1	4
5月	23	19	1	－	－	－	3	21	4	－	5	12	648	42	14	4	2
6月	8	6	－	－	－	－	2	13	4	2	2	5	367	207	－	4	1
7月	17	12	－	3	－	－	2	23	3	2	8	10	196	79	－	－	3
8月	16	8	－	4	－	－	4	14	1	－	3	10	131	59	－	－	3
9月	9	7	－	2	－	－	－	7	－	－	－	7	1	1	－	－	2
10月	26	12	1	7	－	－	6	19	4	1	5	9	336	42	1	1	3
11月	18	14	－	1	－	－	3	41	12	7	9	13	851	83	－	1	7
12月	32	20	1	3	1	－	7	31	5	2	5	19	334	200	1	1	4
不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
総計	247	154	6	27	1	－	59	254	43	18	65	128	6,293	2,102	39	15	39
日曜	35	22	1	1	－	－	11	38	6	－	10	22	1,044	267	11	2	6
月曜	36	29	1	3	－	－	3	31	3	－	5	23	747	38	5	2	4
火曜	28	14	－	7	－	－	7	17	1	1	1	14	187	13	－	1	1
水曜	34	17	－	5	－	－	12	58	18	9	14	17	1,268	651	－	1	6
木曜	36	21	－	5	1	－	9	29	3	3	9	14	1,584	768	－	3	5
金曜	41	29	2	3	－	－	7	35	3	1	8	23	580	86	19	2	6
土曜	34	21	1	3	－	－	9	45	9	4	18	14	883	279	1	4	10
不明	3	1	1	－	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	3	－	1

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員（人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	190	37	4	149	376	802,773	778,936	290	2,154	100	－	21,293	－
1月	16	4	－	12	31	377,425	359,091	－	197	－	－	18,137	－
2月	6	1	－	5	7	4,530	3,674	205	559	－	－	92	－
3月	19	3	－	16	44	26,403	26,180	－	46	－	－	177	－
4月	39	4	－	35	69	90,287	89,528	－	318	－	－	441	－
5月	15	5	1	9	38	36,733	36,471	85	－	－	－	177	－
6月	20	5	－	15	46	41,413	40,907	－	1	－	－	505	－
7月	10	1	－	9	24	11,804	11,684	－	39	－	－	81	－
8月	9	1	2	6	23	22,422	22,145	－	157	－	－	120	－
9月	5	－	－	5	9	253	201	－	47	－	－	5	－
10月	14	5	－	9	22	24,360	23,927	－	408	－	－	25	－
11月	16	4	－	12	25	124,276	123,996	－	119	－	－	161	－
12月	21	4	1	16	38	42,867	41,132	－	263	100	－	1,372	－
不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
総計	190	37	4	149	376	802,773	778,936	290	2,154	100	－	21,293	－
日曜	24	3	－	21	55	79,207	76,987	85	106	－	－	2,029	－
月曜	22	4	2	16	40	25,547	25,320	－	92	－	－	135	－
火曜	9	3	－	6	20	24,351	23,952	－	304	－	－	95	－
水曜	31	10	－	21	68	188,664	187,593	－	798	－	－	273	－
木曜	17	4	－	13	34	333,217	332,777	－	278	100	－	62	－
金曜	56	7	－	49	86	62,625	43,518	205	448	－	－	18,454	－
土曜	30	6	2	22	72	89,142	88,774	－	128	－	－	240	－
不明	1	－	－	1	1	20	15	－	－	－	－	5	－

第4表 時間別火災概況 1/2

区分	出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	247	154	6	27	1	-	59	254	43	18	65	128	6,293	2,102	39	15	39
0-1 時	6	4	-	-	-	-	2	6	1	-	-	5	393	-	3	-	3
1-2 時	2	1	-	1	-	-	-	4	1	-	-	3	72	-	-	1	-
2-3 時	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
3-4 時	2	1	-	1	-	-	-	7	1	-	3	3	131	57	-	-	2
4-5 時	3	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
5-6 時	6	5	-	1	-	-	-	45	17	8	10	10	1,067	165	-	2	3
6-7 時	7	4	-	2	-	-	1	11	1	-	4	6	133	87	-	-	1
7-8 時	9	8	-	1	-	-	-	13	2	1	6	4	195	20	-	-	1
8-9 時	12	11	-	1	-	-	-	11	-	-	3	8	42	4	-	1	5
9-10 時	16	11	-	3	-	-	2	12	-	-	7	5	66	480	-	-	2
10-11 時	10	6	-	2	-	-	2	6	2	-	1	3	99	6	-	-	2
11-12 時	18	10	2	1	-	-	5	12	2	3	3	4	1,729	912	2	1	2
12-13 時	15	10	1	-	-	-	4	18	3	-	6	9	1,040	152	11	1	5
13-14 時	15	10	-	2	-	-	3	12	2	-	4	6	367	60	-	1	3
14-15 時	14	4	2	1	1	-	6	4	-	1	-	3	55	-	20	-	3
15-16 時	18	12	-	-	-	-	6	17	4	1	2	10	477	29	-	1	1
16-17 時	15	5	-	3	-	-	7	8	1	1	3	3	22	6	-	2	-
17-18 時	9	6	-	1	-	-	2	6	-	-	2	4	13	1	-	1	-
18-19 時	14	8	-	1	-	-	5	7	-	-	-	7	-	1	-	1	3
19-20 時	16	11	-	2	-	-	3	17	3	-	4	10	114	15	-	1	2
20-21 時	8	4	-	-	-	-	4	10	-	2	3	5	80	30	-	-	-
21-22 時	12	9	-	1	-	-	2	9	-	1	1	7	6	8	-	-	-
22-23 時	7	5	-	2	-	-	-	5	-	-	1	4	37	20	-	1	-
23-24 時	8	4	-	1	-	-	3	9	3	-	2	4	155	49	-	1	-
不明	4	2	1	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	3	-	1

第5表 時間別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	190	37	4	149	376	802,773	778,936	290	2,154	100	－	21,293	－
0-1 時	3	－	－	3	4	6,087	6,021	－	－	－	－	66	－
1-2 時	3	1	－	2	7	4,045	3,275	－	185	－	－	585	－
2-3 時	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3-4 時	7	1	2	4	19	21,323	21,274	－	42	－	－	7	－
4-5 時	1	－	－	1	1	421	397	－	－	－	－	24	－
5-6 時	17	7	－	10	32	145,009	144,799	－	4	－	－	206	－
6-7 時	6	1	－	5	15	8,273	8,140	－	1	－	－	132	－
7-8 時	7	2	－	5	13	10,633	10,622	－	－	－	－	11	－
8-9 時	6	－	－	6	11	4,680	4,660	－	20	－	－	－	－
9-10 時	6	1	1	4	13	21,882	21,587	－	294	－	－	1	－
10-11 時	4	1	－	3	12	13,576	13,425	－	150	－	－	1	－
11-12 時	15	3	1	11	35	358,453	358,443	－	－	－	－	10	－
12-13 時	13	2	－	11	22	78,489	77,896	85	96	－	－	412	－
13-14 時	44	7	－	37	71	35,828	35,501	－	319	－	－	8	－
14-15 時	3	1	－	2	6	5,482	5,170	205	－	100	－	7	－
15-16 時	13	5	－	8	24	27,880	27,714	－	52	－	－	114	－
16-17 時	4	1	－	3	7	22,318	3,904	－	391	－	－	18,023	－
17-18 時	2	－	－	2	4	1,229	1,173	－	56	－	－	－	－
18-19 時	8	－	－	8	16	122	18	－	27	－	－	77	－
19-20 時	11	1	－	10	25	17,640	16,086	－	257	－	－	1,297	－
20-21 時	2	－	－	2	6	3,879	3,753	－	－	－	－	126	－
21-22 時	5	－	－	5	15	887	871	－	16	－	－	－	－
22-23 時	3	1	－	2	4	3,584	3,374	－	198	－	－	12	－
23-24 時	6	2	－	4	13	11,032	10,817	－	46	－	－	169	－
不明	1	－	－	1	1	21	16	－	－	－	－	5	－

第6表 出火原因別火災概況 1/2

区分	出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	247	154	6	27	1	－	59	254	43	18	65	128	6,293	2,102	39	15	39
たばこ	32	18	2	－	－	－	12	21	3	1	6	11	223	11	14	3	2
こんろ	30	30	－	－	－	－	－	34	－	2	6	26	139	33	－	1	8
かまど	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
風呂かまど	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
炉	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
焼却炉	3	－	1	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
ストーブ	9	9	－	－	－	－	－	14	4	1	5	4	227	17	－	1	6
こたつ	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－
ボイラー	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
煙突・煙道	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
排気管	10	－	－	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
電気機器	10	3	－	5	1	－	1	4	1	－	－	3	6	－	－	－	1
電気装置	2	1	－	－	－	－	1	3	－	－	－	3	－	－	－	－	－
電灯・電話等の配線	9	8	－	－	－	－	1	8	－	－	3	5	162	196	－	1	－
内燃機関	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
配線器具	10	9	－	－	－	－	1	16	1	－	6	9	167	88	－	－	－
火あそび	10	6	－	－	－	－	4	6	－	－	3	3	3	33	－	－	1
マッチ・ライター	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
たき火	20	2	3	－	－	－	15	2	1	1	－	－	437	－	24	－	－
溶接機・切断機	1	1	－	－	－	－	－	2	－	－	1	1	－	261	－	－	－
灯火	5	5	－	－	－	－	－	11	3	－	3	5	344	39	－	1	5
衝突の火花	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
取灰	2	1	－	－	－	－	1	2	－	－	－	2	1	1	－	－	－
火入れ	2	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
放火	26	17	－	4	－	－	5	31	3	－	10	18	345	144	－	2	3
放火の疑い	4	3	－	－	－	－	1	3	－	－	1	2	－	3	－	－	－
その他	37	23	－	2	－	－	12	24	2	2	4	16	276	19	－	－	4
不明・調査中	23	17	－	6	－	－	－	72	25	11	17	19	3,963	1,257	－	6	7

第7表 出火原因別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	190	37	4	149	376	802,773	778,936	290	2,154	100	-	21,293	-
たばこ	18	2	-	16	36	14,809	14,557	85	-	-	-	167	-
こんろ	28	1	-	27	49	7,516	7,478	-	-	-	-	38	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-
ストーブ	11	3	-	8	20	32,470	32,410	-	60	-	-	-	-
こたつ	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	-	-	-	1,029	-	-	1,016	-	-	13	-
電気機器	2	-	-	2	5	1,689	244	-	52	100	-	1,293	-
電気装置	1	-	-	1	2	19	9	-	-	-	-	10	-
電灯・電話等の配線	32	2	-	30	51	19,949	19,928	-	-	-	-	21	-
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	10	1	1	8	25	30,140	11,985	-	-	-	-	18,155	-
火あそび	3	-	-	3	10	247	246	-	-	-	-	1	-
マッチ・ライター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	-	-	-	-	-	8,043	7,778	205	-	-	-	60	-
溶接機・切断機	-	-	-	-	-	129	129	-	-	-	-	-	-
灯火	10	3	-	7	18	26,486	26,083	-	11	-	-	392	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	1	-	-	1	5	10	10	-	-	-	-	-	-
火入れ	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
放火	20	4	3	13	50	38,974	38,430	-	295	-	-	249	-
放火の疑い	-	-	-	-	-	10	8	-	-	-	-	2	-
その他	8	2	-	6	10	22,961	22,910	-	3	-	-	48	-
不明・調査中	45	19	-	26	94	598,285	596,731	-	717	-	-	837	-

第8表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	247	28	26	22	22	23	8	17	16	9	26	18	32	-
たばこ	32	5	3	1	3	3	-	3	3	1	4	-	6	-
こんろ	30	3	2	1	3	2	1	4	2	2	2	5	3	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
焼却炉	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ストーブ	9	4	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-
こたつ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	10	1	-	-	1	-	-	-	3	1	2	1	1	-
電気機器	10	-	-	-	1	1	-	3	-	1	1	1	2	-
電気装置	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
電灯・電話等の配線	9	-	-	2	1	1	1	-	1	-	2	-	1	-
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	10	3	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	2	-
火あそび	10	1	3	2	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-
マッチ・ライター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	20	1	7	5	1	1	-	-	-	-	3	1	1	-
溶接機・切断機	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	5	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
火入れ	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
放火	26	1	2	2	-	5	-	1	4	1	4	1	5	-
放火の疑い	4	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
その他	37	3	1	3	8	4	3	4	-	1	3	4	3	-
不明・調査中	23	4	2	1	2	2	3	1	1	1	1	1	4	-

第9表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	0 1 時	1 2 時	2 3 時	3 4 時	4 5 時	5 6 時	6 7 時	7 8 時	8 9 時	9 10 時	10 11 時	11 12 時	12 13 時	13 14 時	14 15 時	15 16 時	16 17 時	17 18 時	18 19 時	19 20 時	20 21 時	21 22 時	22 23 時	23 24 時	不明
総計	247	6	2	1	2	3	6	7	9	12	16	10	18	15	15	14	18	15	9	14	16	8	12	7	8	4
たばこ	32	-	-	1	-	1	-	-	2	3	1	-	1	3	1	1	4	1	-	4	3	2	1	-	2	1
こんろ	30	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	1	2	2	2	1	1	1	6	3	1	2	2	-	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	9	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
こたつ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	10	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-
電気機器	10	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
電気装置	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1	-
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	10	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-
火あそび	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	2	2	-	-	-	1	-	-	1
マッチ・ライター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	4	3	2	1	-	1	-	-	-	-	1
溶接機・切断機	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	5	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
火入れ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	26	1	1	-	1	-	-	4	1	3	1	-	1	-	1	-	1	1	3	-	2	2	2	1	-	-
放火の疑い	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
その他	37	-	-	-	1	-	-	-	2	-	6	3	4	1	3	2	3	1	2	1	4	-	2	-	2	-
不明・調査中	23	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	1	3	1	2	-	3	3	-	-	3	-	-	-	1	1

第 10 表 風速・湿度別火災概況 1/2

風速 (m／s)	湿度 (%)	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計		247	154	6	27	1	－	59	254	43	18	65	128	6,293	2,102	39	15	39
0-3 未満	35 未満	8	5	－	－	－	－	3	7	1	1	2	3	360	45	－	1	2
	35～54	92	55	3	6	－	－	28	72	12	3	16	41	1,325	566	21	7	11
	55～74	87	54	1	11	－	－	21	105	21	11	27	46	1,981	438	4	4	16
	75 以上	41	32	－	7	1	－	1	58	8	2	16	32	1,224	329	－	2	9
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3-6 未満	35 未満	3	2	1	－	－	－	－	2	－	－	1	1	－	2	11	－	1
	35～54	11	4	－	2	－	－	5	6	－	1	2	3	18	6	－	－	－
	55～74	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	1,313	716	－	－	－
	75 以上	2	1	－	1	－	－	－	3	1	－	－	2	72	－	－	1	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6-9 未満	35 未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	35～54	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～74	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75 以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9 以上	35 未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	35～54	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～74	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75 以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明	35 未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	35～54	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～74	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75 以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

第 1 1 表 風速・湿度別火災概況 2/2

風速 (m／s)	湿度 (%)	り災世帯数（世帯）				り災人員 (人)	損害額（千円）							
		計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計		190	37	4	149	376	802, 773	778, 936	290	2, 154	100	－	21, 293	－
0-3 未満	35 未満	32	3	－	29	54	21, 181	20, 784	－	11	－	－	386	－
	35～54	60	16	－	44	128	156, 050	137, 233	205	431	－	－	18, 181	－
	55～74	59	13	4	42	119	221, 723	218, 826	－	1, 018	－	－	1, 879	－
	75 以上	32	4	－	28	59	90, 759	90, 011	－	314	100	－	334	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3-6 未満	35 未満	2	－	－	2	2	104	19	85	－	－	－	－	－
	35～54	3	－	－	3	8	1, 833	1, 459	－	374	－	－	－	－
	55～74	－	－	－	－	－	307, 351	307, 351	－	－	－	－	－	－
	75 以上	2	1	－	1	6	3, 754	3, 253	－	6	－	－	495	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6-9 未満	35 未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	35～54	－	－	－	－	－	18	－	－	－	－	－	18	－
	55～74	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75 以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9 以上	35 未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	35～54	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～74	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75 以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
不明	35 未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	35～54	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	55～74	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	75 以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

第 1 2 表 火元建物用途別概況 1/2

区分		出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計		154	154	-	-	-	-	-	248	43	17	64	124	6,288	2,096	3	15	37
住宅火災	住宅	50	50	-	-	-	-	-	128	34	12	39	43	2,751	643	-	8	19
	併用住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	共同住宅	36	36	-	-	-	-	-	37	2	-	10	25	401	66	-	5	12
住宅火災 計		86	86	-	-	-	-	-	165	36	12	49	68	3,152	709	-	13	31
劇場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食		6	6	-	-	-	-	-	11	-	2	3	6	79	29	-	-	2
物品販売店舗		4	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
旅館		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設		1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
幼稚園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校		5	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-	1	-	-	-
図書館		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場		11	11	-	-	-	-	-	11	1	-	1	9	537	-	3	-	1
スタジオ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場		2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	1	-	-	-	1
航空機格納庫		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫		7	7	-	-	-	-	-	8	2	2	2	2	51	8	-	-	-
事務所		5	5	-	-	-	-	-	5	-	-	2	3	1,316	716	-	-	-
複合用途（特定）		12	12	-	-	-	-	-	12	-	-	1	11	16	1	-	1	2
複合用途（非特定）		9	9	-	-	-	-	-	16	2	-	5	9	922	438	-	-	-
地下街		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		6	6	-	-	-	-	-	8	2	1	1	4	214	194	-	1	-

第 1 3 表 火元建物用途別概況 2/2

区分		り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
		計	全 損	半 損	小 損		計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
総計		187	37	4	146	369	780,787	778,896	-	294	-	-	1,597	-
住宅火災	住宅	88	23	3	62	196	286,787	285,095	-	209	-	-	1,483	-
	併用住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	共同住宅	44	9	1	34	69	52,565	52,555	-	-	-	-	10	-
住宅火災 計		132	32	4	96	265	339,352	337,650	-	209	-	-	1,493	-
劇場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食		-	-	-	-	-	3,815	3,777	-	-	-	-	38	-
物品販売店舗		1	-	-	1	1	451	451	-	-	-	-	-	-
旅館		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設		-	-	-	-	-	70	70	-	-	-	-	-	-
幼稚園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校		-	-	-	-	-	61	61	-	-	-	-	-	-
図書館		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場		-	-	-	-	-	23,035	22,977	-	-	-	-	58	-
スタジオ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場		-	-	-	-	-	18	18	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫		1	-	-	1	4	1,415	1,415	-	-	-	-	-	-
事務所		-	-	-	-	-	308,403	308,403	-	-	-	-	-	-
複合用途（特定）		5	-	-	5	8	1,015	1,015	-	-	-	-	-	-
複合用途（非特定）		35	2	-	33	58	71,588	71,495	-	85	-	-	8	-
地下街		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		13	3	-	10	33	31,564	31,564	-	-	-	-	-	-

第 1 4 表 建物分類別・月別火災発生件数

区分	総計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	不明
総計	247	28	26	22	22	23	8	17	16	9	26	18	32	-
建物火災 計	154	20	8	12	16	19	6	12	8	7	12	14	20	-
住宅火災														
住宅	50	10	2	5	3	7	2	4	1	2	3	4	7	-
併用住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
共同住宅	36	4	2	2	4	3	1	2	3	3	3	4	5	-
住宅火災 計	86	14	4	7	7	10	3	6	4	5	6	8	12	-
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	6	-	1	-	1	-	-	1	1	-	1	1	-	-
物品販売店舗	4	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	5	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	11	1	-	1	2	3	1	-	-	1	1	-	1	-
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	7	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	2	-	-
事務所	5	1	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-
複合用途（特定）	12	2	1	-	-	1	-	1	2	-	1	1	3	-
複合用途（非特定）	9	-	1	2	2	-	1	1	-	-	-	-	2	-
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	1	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-
林野火災	6	-	2	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-
車両火災 計	27	3	2	1	1	-	-	3	4	2	7	1	3	-
自動車	27	3	2	1	1	-	-	3	4	2	7	1	3	-
鉄道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶火災	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の火災	59	5	14	8	5	3	2	2	4	-	6	3	7	-

第 1 5 表 管轄署所別火災発生状況

管轄署所		火災件数（件）	死者数（人）	負傷者数（人）
中消防署	中消防署	15	1	3
	白島出張所	3	－	1
	基町出張所	4	－	－
	江波出張所	7	2	2
中消防署 計		29	3	6
東消防署	東消防署	9	－	1
	福田出張所	2	－	1
	温品出張所	8	－	2
	戸坂出張所	1	－	－
東消防署 計		20	－	4
南消防署	南消防署	5	－	2
	水上出張所	8	1	－
	青崎出張所	4	－	－
	東本浦出張所	4	1	2
	日宇那出張所	4	1	1
	宇品出張所	10	－	1
南消防署 計		35	3	6
西消防署	西消防署	7	1	－
	三篠出張所	6	2	2
	己斐出張所	8	－	1
	庚午出張所	7	－	－
	井口出張所	3	－	－
西消防署 計		31	3	3
安佐南消防署	安佐南消防署	6	－	－
	上安出張所	5	1	3
	祇園出張所	2	－	－
	沼田出張所	13	－	1
安佐南消防署 計		26	1	4
安佐北消防署	安佐北消防署	4	－	2
	白木出張所	5	－	－
	高陽出張所	10	1	2
	可部出張所	6	－	1
	安佐出張所	7	－	－
	安芸太田出張所	4	1	－
安佐北消防署 計		36	2	5
安芸消防署	安芸消防署	15	1	1
	瀬野川出張所	12	－	3
	矢野出張所	5	－	2
	熊野出張所	7	1	1
	坂出張所	－	－	－
安芸消防署 計		39	2	7
佐伯消防署	佐伯消防署	8	－	3
	湯来出張所	6	－	－
	石内出張所	2	－	1
	八幡出張所	9	1	－
	海老園出張所	6	－	－
佐伯消防署 計		31	1	4
総計		247	15	39

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
昭和23年	99	97	2	0	0	0		17,929	…	…	170,074 (…)	11.6	…	29	…	…	…	61,361 (246,134)	昭和23年1月1日からの統計
昭和24年	114	110	2	1	1	0		23,219	…	…	292,947 (89,645)	15.3	…	93	…	…	…	67,549 (270,863)	
昭和25年	166	126	6	3	0	31		20,006	…	…	132,364 (25,039)	14.2	2	50	…	…	…	73,006 (288,003)	
昭和26年	144	133	1	5	3	2		24,651	…	…	179,421 (177,282)	16.6	1	39	…	…	…	76,531 (302,372)	
昭和27年	105	75	3	6	1	20		9,064	…	139	102,576 (101,463)	17.4	1	31	…	…	…	78,531 (321,973)	
昭和28年	182	135	3	17	2	25		13,441	…	404	98,963 (97,900)	18.6	…	…	…	…	…	86,215 (345,219)	
昭和29年	282	236	3	18	1	24		4,278	…	30	51,833 (50,697)	19.8	…	…	…	…	…	91,924 (361,367)	
昭和30年	330	262	17	30	0	21		16,025	…	644	125,056 (124,692)	19.5	…	…	…	…	…	96,897 (374,793)	4.1戸坂村編入
昭和31年	366	302	7	28	3	26		13,754	…	44	169,251 (167,201)	19.6	0	32	…	…	…	101,255 (388,347)	4.1中山村編入 11.1井口村編入
昭和32年	352	289	19	15	3	26		10,666	…	1,234	133,715 (130,230)	20.2	1	29	…	…	…	107,102 (403,402)	
昭和33年	367	304	17	24	1	21		7,106	…	86	68,599 (67,674)	20.1	4	36	…	…	…	113,580 (419,573)	
昭和34年	308	236	20	33	2	17		6,721	…	92	82,140 (81,455)	20.3	4	32	299	279	…	119,636 (433,528)	
昭和35年	351	274	21	27	5	24		10,243	…	743	101,247 (100,380)	21.1	7	43	367	359	1,314	125,080 (445,727)	
昭和36年	306	242	15	29	3	17		11,776	…	650	108,918 (107,908)	22.2	3	19	379	301	1,059	131,961 (462,703)	
昭和37年	306	229	24	42	5	6		10,946	…	301	158,330 (156,165)	23.7	3	18	323	221	826	139,840 (480,576)	
昭和38年	317	225	25	48	5	14		10,231	…	309	129,580 (126,555)	25.6	4	26	409	298	994	147,079 (494,079)	
昭和39年	333	244	24	40	4	21		11,060	…	158	198,666 (197,003)	26.5	3	30	330	223	745	155,944 (511,611)	
昭和40年	337	234	42	39	5	17		14,670	…	3,532	254,060 (251,748)	28.3	14	55	520	296	982	163,039 (524,558)	
昭和41年	277	205	17	39	3	13		17,546	…	116	310,812 (309,283)	29.8	2	57	402	256	820	169,188 (532,676)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は安芸区を除いたもので、消防年報による。(3)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。(4)…は不詳を表す。

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
昭和42年	350	232	45	45	4	24		12,417	---	10,088	200,117 (195,741)	30.9	9	63	440	404	1,154	175,985 (543,079)	
昭和43年	314	236	26	33	3	16		8,640	---	260	164,482 (163,255)	32.6	9	40	373	192	617	183,835 (551,259)	
昭和44年	308	225	17	39	4	0	23	7,283	---	1,086	279,731 (264,302)	34.3	2	37	326	200	646	188,006 (556,791)	
昭和45年	324	218	47	33	0	0	26	10,245	---	3,973	274,432 (266,154)	36.9	5	31	403	421	1,213	191,393 (558,014)	
昭和46年	344	246	23	35	4	0	36	9,671	---	51	374,665 (367,597)	39.3	5	32	356	405	1,140	201,409 (574,924)	4.1沼田町編入 5.20安佐町編入
昭和47年	317	232	27	17	3	0	38	7,419	---	114	283,432 (272,335)	41.2	3	53	321	311	976	240,841 (672,845)	4.1可部町編入 8.27祇園町編入
昭和48年	372	241	37	25	0	0	69	10,055	---	7,037	352,123 (348,176)	46.0	6	39	322	275	849	268,723 (740,340)	3.20安古市町・高陽町・佐東町・瀬 野川町編入 10.22白木町編入
昭和49年	428	260	42	26	1	0	99	6,546	---	3,036	339,179 (332,374)	56.7	11	60	315	269	801	281,032 (772,226)	11.1熊野跡村・安芸町編入
昭和50年	409	262	29	21	1	0	96	11,676	---	3,620	670,199 (651,402)	63.3	13	33	353	322	988	285,864 (783,497)	3.20矢野町・船越町編入
昭和51年	394	254	22	23	2	0	93	11,220	---	407	1,201,501 (1,176,121)	69.3	7	68	362	373	1,032	288,003 (791,637)	
昭和52年	505	286	46	28	2	0	143	6,633	---	1,547	923,628 (912,894)	74.9	12	59	397	290	870	290,984 (800,227)	
昭和53年	584	304	54	21	4	0	201	8,948	---	2,339	681,287 (607,118)	78.1	14	68	440	363	1,115	294,038 (807,008)	
昭和54年	539	305	42	44	1	0	147	10,441	---	643	831,359 (814,933)	81.0	12	62	491	379	1,073	297,943 (815,556)	
昭和55年	484	281	25	46	2	0	130	6,160	---	128	540,544 (532,599)	87.3	13	56	393	347	980	304,209 (826,919)	4.1区政施行
昭和56年	463	270	34	27	0	0	132	5,646	---	52	544,767 (532,442)	91.5	12	49	354	286	756	309,500 (837,636)	
昭和57年	522	258	60	42	7	0	155	4,984	---	224	501,261 (494,133)	94.1	13	55	339	282	753	313,607 (845,470)	
昭和58年	445	260	24	39	1	0	121	8,844	---	162	799,768 (773,134)	95.8	10	52	400	319	854	318,699 (854,200)	
昭和59年	467	271	19	32	2	0	143	6,701	---	326	526,562 (520,179)	98.0	6	63	390	323	863	323,576 (863,000)	
昭和60年	473	292	42	32	0	0	107	9,508	---	319	1,117,544 (1,109,240)	100.0	10	65	455	386	1,112	360,891 (969,969)	3.20五日市町編入(佐伯区となる)

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の安芸区分を除いたもので、各年の消防年報による。

(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。(4)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。

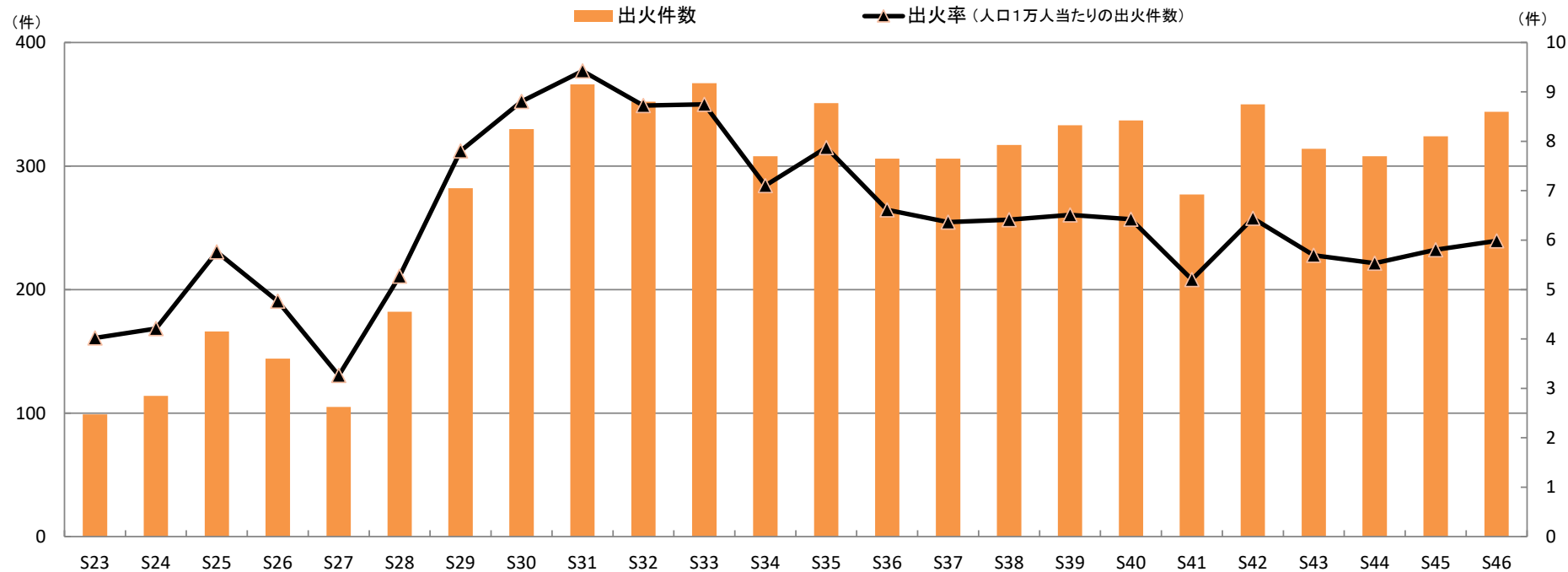
年 別	出 火 件 数								焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
				自動車	鉄道															
昭和61年	595	349	40	48	1	4	0	157	7,888		2,416	646,871 (589,162)	100.6	23	61	490	369	1,095	367,079 (980,640)	
昭和62年	532	323	32	37	0	3	0	140	6,163		234	529,768 (523,034)	100.7	17	55	449	345	972	372,653 (989,790)	
昭和63年	587	336	34	54	0	4	0	163	10,571		106	1,173,725 (1,159,445)	101.4	13	68	479	391	1,048	378,173 (997,212)	
平成元年	556	316	39	49	2	0	0	150	5,282		145	631,862 (554,749)	103.7	12	57	435	326	890	383,998 (1,003,896)	
平成2年	610	323	22	80	---	3	0	182	5,483	---	157	720,430 (684,499)	106.9	15	71	453	371	1,026	390,290 (1,010,438)	
平成3年	593	327	32	71	---	2	0	161	7,130	---	1,030	947,503 (920,172)	95.1	9	65	463	335	900	390,645 (1,001,851)	
平成4年	539	305	25	54	---	5	0	150	5,232	---	181	913,479 (849,311)	96.7	6	35	416	252	745	395,225 (1,010,462)	
平成5年	528	313	27	51	---	2	0	135	4,853	---	279	623,084 (590,237)	98.0	6	65	445	346	891	407,762 (1,024,280)	
平成6年	638	302	49	49	---	2	0	236	5,846	---	819	928,275 (859,004)	98.6	15	90	431	373	975	405,381 (1,018,728)	
平成7年	562	299	32	64	0	2	0	165	6,721	1,786	126	854,102 (824,496)	98.5	8	46	368	250	666	410,464 (1,022,755)	
平成8年	557	316	20	52	0	2	0	167	4,114	2,334	31	709,429 (682,033)	98.6	10	79	383	359	903	422,282 (1,035,527)	
平成9年	579	332	22	61	0	1	0	163	5,756	1,312	59	770,261 (747,335)	100.4	16	70	409	292	752	421,506 (1,027,012)	
平成10年	509	306	17	55	0	1	0	130	4,769	1,975	41	542,545 (502,450)	101.0	9	67	369	257	650	432,484 (1,044,795)	
平成11年	571	337	19	67	1	0	0	147	5,500	1,478	126	651,063 (261,088)	100.7	17	63	423	326	841	437,070 (1,047,868)	
平成12年	516	300	27	62	0	0	0	125	5,860	2,363	25	687,153 (645,238)	100.0	8	78	384	295	742	441,339 (1,051,817)	
平成13年	600	334	22	71	0	3	0	170	11,956	4,188	59	1,663,184 (1,641,657)	99.1	15	65	467	347	891	437,070 (1,047,868)	
平成14年	575	320	29	65	0	1	0	160	3,945	2,130	98	455,921 (438,184)	98.5	9	90	401	277	646	450,849 (1,060,049)	
平成15年	444	275	15	46	0	0	0	108	4,377	2,395	76	719,393 (707,944)	98.1	15	71	361	276	645	455,586 (1,063,810)	
平成16年	434	239	23	55	0	1	0	116	12,288	8,719	64	4,092,925 (4,078,224)	97.8	8	70	301	280	586	442,070 (1,069,118)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の住民基本台帳登録人口及び外国人登録人口で安芸区及び佐伯区のうち湯来地区を除いたもの。
(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。(4)平成17年以降の物価指数は消費者物価指数(全国値)で平成17年を100としたもの。(5)年ごとに基準みなおし)

年 別	出 火 件 数								焼 損 面 積			損害額(千円) ()は建物損害	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ()は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a		死者	傷者		世帯	人員		
				自動車	鉄道														
平成17年	474	275	9	68	0	2	0	120	5,472	1,890	52	547,285 (525,461)	19	83	397	305	736	466,611 (1,072,712)	
平成18年	452	296	2	42	0	0	0	112	7,125	2,253	722	1,010,625 (1,001,037)	19	90	379	348	824	472,693 (1,075,804)	
平成19年	543	325	15	47	0	1	0	155	8,451	5,029	33	817,571 (789,498)	14	84	446	356	805	550,495 (1,246,047)	平成19年4月から広島市佐伯区湯来町、広島市安芸区、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市吉和地区が管轄区域となる。
平成20年	548	323	22	40	0	0	0	163	5,654	2,947	293	1,015,807 (993,060)	16	96	410	307	774	550,981 (1,247,084)	
平成21年	506	260	16	46	0	1	0	183	8,326	2,389	28	814,173 (771,691)	13	65	358	331	686	551,333 (1,244,640)	
平成22年	514	249	21	55	0	0	0	189	5,545	1,280	31	600,332 (543,983)	12	62	318	260	572	559,472 (1,251,557)	
平成23年	479	260	23	33	0	0	0	163	5,804	1,372	61	516,273 (510,522)	11	55	340	271	601	559,531 (1,251,368)	
平成24年	395	215	16	40	0	2	0	122	3,953	1,057	17	493,964 (468,962)	12	60	279	243	537	563,671 (1,253,733)	
平成25年	420	249	12	37	0	0	0	122	7,311	876	37	789,831 (777,333)	9	50	325	218	461	567,736 (1,257,629)	
平成26年	378	229	8	37	1	1	0	102	5,700	991	86	635,924 (614,265)	30	65	319	256	551	573,267 (1,260,790)	
平成27年	305	198	5	19	0	0	0	83	5,188	1,747	9	448,839 (440,703)	20	64	242	195	411	577,756 (1,262,631)	
平成28年	299	187	5	33	0	1	0	73	3,358	570	45	490,488 (211,058)	5	54	229	153	350	583,775 (1,265,234)	
平成29年	316	204	4	20	0	0	0	88	4,082	1,060	14	474,180 (284,469)	8	60	277	219	462	588,982 (1,267,410)	
平成30年	260	161	6	20	0	1	0	72	4,068	1,239	399	539,614 (206,780)	10	49	225	217	438	593,572 (1,267,935)	
令和元年	277	168	3	25	0	0	0	81	3,690	1,031	56	361,434 (352,052)	9	40	233	172	360	598,909 (1,268,332)	
令和2年	229	145	5	16	0	0	0	63	3,727	596	11	270,035 (258,382)	5	51	188	150	313	603,992 (1,267,846)	
令和3年	247	154	6	27	0	1	0	59	6,293	2,102	39	802,773 (778,936)	15	39	254	190	376	608,750 (1,266,065)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。

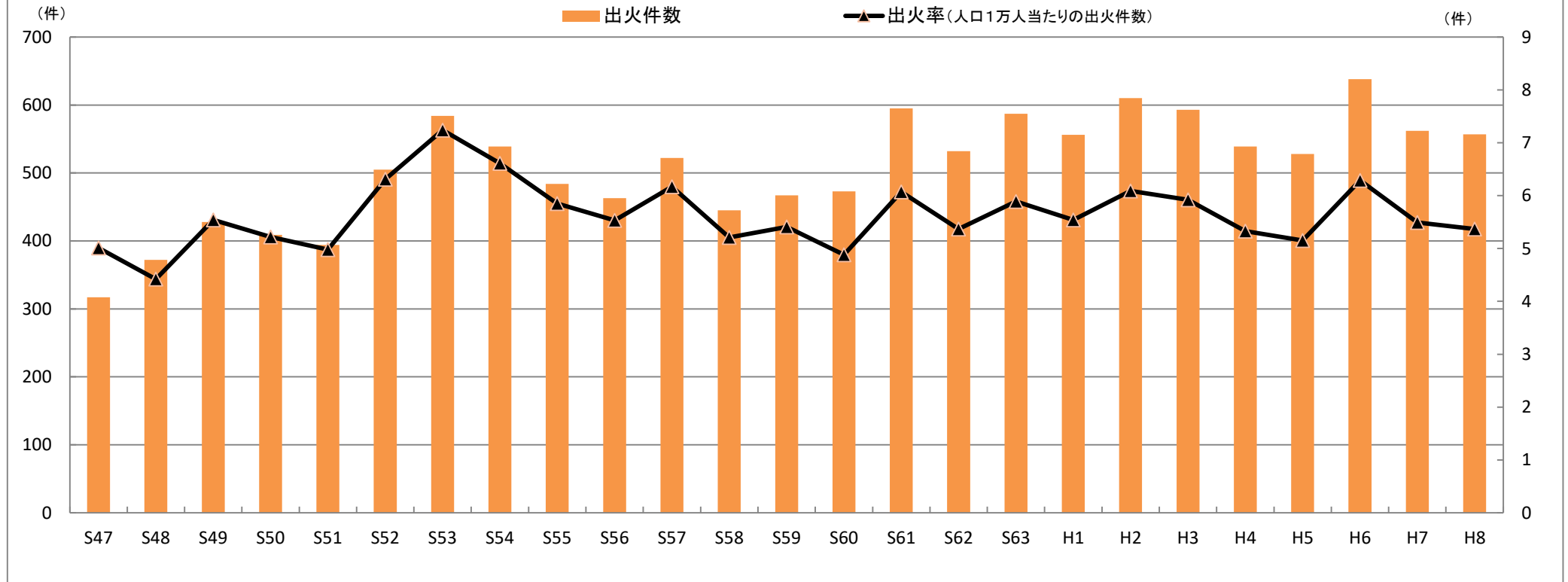
火 災 の 推 移 状 況



	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46
出火件数	99	114	166	144	105	182	282	330	366	352	367	308	351	306	306	317	333	337	277	350	314	308	324	344
人口	246,134	270,863	288,003	302,372	321,973	345,219	361,367	374,793	388,347	403,402	419,573	433,528	445,727	462,703	480,576	494,079	511,611	524,558	532,676	543,079	551,259	556,791	558,014	574,924
出火率	4.02	4.21	5.76	4.76	3.26	5.27	7.80	8.80	9.42	8.73	8.75	7.10	7.87	6.61	6.37	6.42	6.51	6.42	5.20	6.44	5.70	5.53	5.81	5.98

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

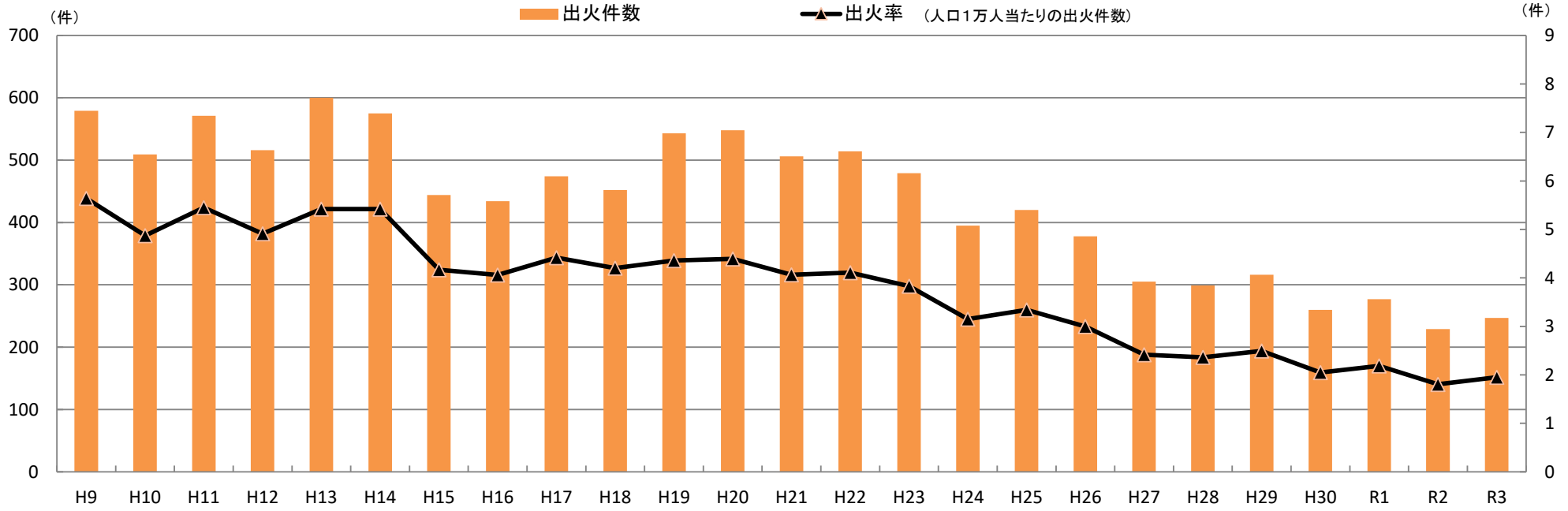
火 災 の 推 移 状 況



	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8
出火件数	317	372	428	409	394	505	584	539	484	463	522	445	467	473	595	532	587	556	610	593	539	528	638	562	557
人口	672,845	740,340	772,226	783,497	791,637	800,227	807,008	815,556	826,919	837,636	845,470	845,200	863,000	969,969	980,640	989,790	997,212	1,003,896	1,010,438	1,001,850	1,010,462	1,024,280	1,018,728	1,022,750	1,035,527
出火率	5.01	4.42	5.54	5.22	4.98	6.31	7.24	6.61	5.85	5.53	6.17	5.21	5.41	4.88	6.07	5.37	5.89	5.54	6.09	5.92	5.33	5.15	6.29	5.49	5.37

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

火 災 の 推 移 状 況



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
出火件数	579	509	571	516	600	575	444	434	474	452	543	548	506	514	479	395	420	378	305	299	316	260	277	229	247
人口	1,027,012	1,044,795	1,047,868	1,051,817	1,047,868	1,060,049	1,063,810	1,069,118	1,072,712	1,075,804	1,246,047	1,247,084	1,244,640	1,251,557	1,251,368	1,253,733	1,257,629	1,260,790	1,262,631	1,265,234	1,267,410	1,267,935	1,268,332	1,267,846	1,266,065
出火率	5.64	4.87	5.45	4.91	5.42	5.42	4.17	4.06	4.42	4.20	4.36	4.39	4.07	4.11	3.83	3.15	3.34	3.00	2.42	2.36	2.49	2.05	2.18	1.81	1.95

平成19年以降は、安芸区、佐伯区湯来町、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市市吉和を含む。

令和3年(2021年) 広島市消防局火災統計

広島市消防局予防部予防課調査係

〒730-0051

広島市中区大手町五丁目20番12号

TEL (082) 546-3453 内線 71-415・416・417

FAX (082) 249-1160